液晶テレビ **Uniden**

# 取扱説明書

## フルハイビジョン対応 液晶テレビ

品番 TL37AZ1
TL42AZ1

※画面はハメ込み合成です。



**このたびはユニデン液晶テレビをお買い上げいただきありがとうございます。**

■ 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。

■ この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。

■ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。

<ユニデンダイレクト>ホームページ
http://www.uniden-direct.jp/
で最新情報をご覧いただけます。

# もくじ

## 第1章　はじめに



## 第2章　準備する



## 第3章　テレビを見る



## 第4章　各種設定のしかた



## 第5章　ご参考

# 第１章

# はじめに

# 安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

**警告表示の意味**

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警 告 | 火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。 |
| ⚠注 意 | けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。 |

**絵表示の説明**

| 注意をうながす記号 | 行為を禁止する記号 | 行為を指示する記号 |
|---|---|---|
| 一般的注意 | 禁 止 / 分解禁止 / ぬれ手禁止 | 一般的指示 / 電源プラグを抜く |

## ⚠警 告

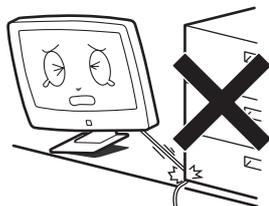
**電源コードを傷つけないでください**
**火災・感電などの原因となります**

・設置時に、製品と壁や床などの間に挟み込んだりしないでください。

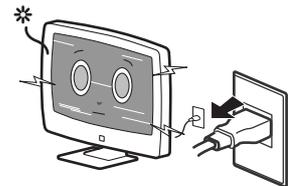
・電源コードを加工したり、傷つけたりしないでください。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。

・電源コードを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。

**破損したり、異常が発生した場合は**
**電源プラグを抜いてください**
**火災・感電などの原因となります**

・落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

・煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

# 安全上のご注意（つづき）

## ⚠警告

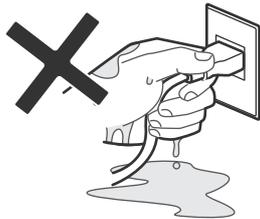
### 電源プラグにホコリなどが付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除いてください

・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

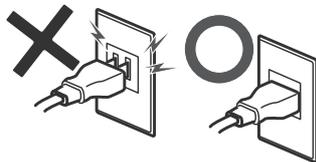
ほこりを取る

### ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

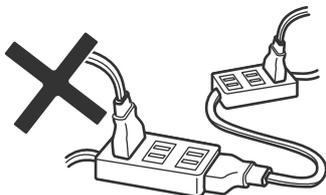
・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

### 電源プラグは確実に差し込んでください

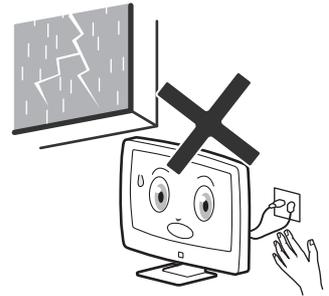
・差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

### タコ足配線をしないでください

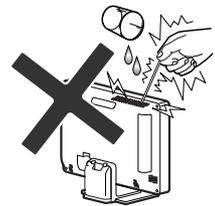
・火災や感電の原因となることがあります。

禁　止

### 雷が鳴り出したら、テレビやアンテナ線、電源プラグに触れないでください

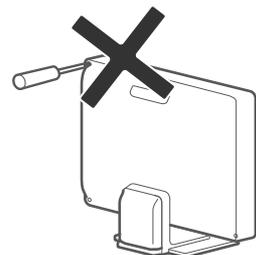
・感電の原因となります。

接触禁止

### 内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり入れたりしないでください

・火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐ電源を切り、電源プラグを抜いてください。

禁　止

### 本機の裏ぶたをはずしたり、改造したりしないでください

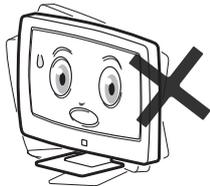
・内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。

分解禁止

# 安全上のご注意（つづき）

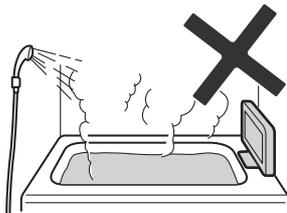
## ⚠警告

### 不安定な場所に置かないでください

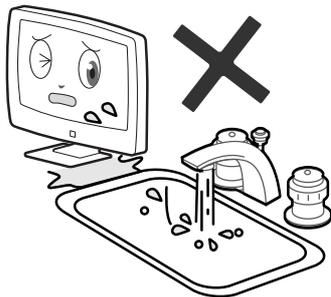
・落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

### 浴室やシャワー室では使用しないでください

・本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

浴室での使用禁止

### 水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

・火災、感電の原因となることがあります。

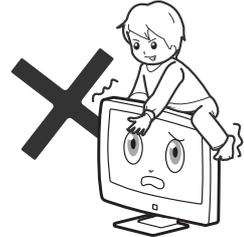
禁　止

### 火のついたろうそく、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください

・変形や火災のおそれがあります。

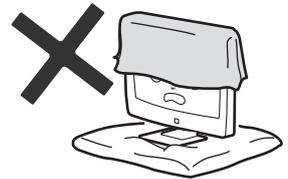
火気禁止

### 重いものを置いたり、乗ったりしないでください

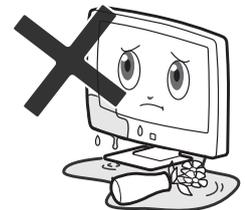
・落下・転倒してけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁　止

### 風通しの悪い所、密封した箱の中、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけないでください

・内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

禁　止

### 近く、または上に花瓶など水の入ったものを置かないでください

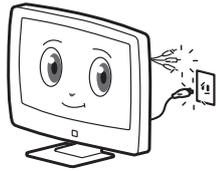
・水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

水ぬれ禁止

# 安全上のご注意（つづき）

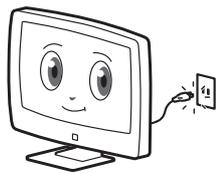
## ⚠注 意

### 移動するときは、接続されている線をすべてはずしてください

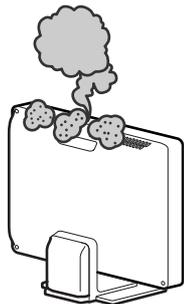
・コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

接続線をはずす

### お手入れや長時間使用しないときは電源プラグを抜いてください

・感電や火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

### 通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください

・火災の原因となることがあります。

ほこりをとる

### 液晶画面に衝撃を与えないでください

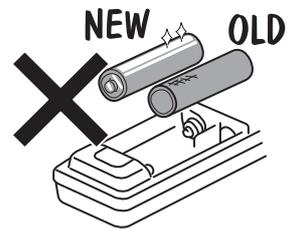
・液晶パネルが割れて、けがの原因となることがあります。

禁　止

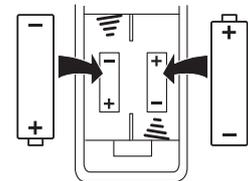
### ■リモコンの取り扱いについて

### 指定以外の電池を使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください

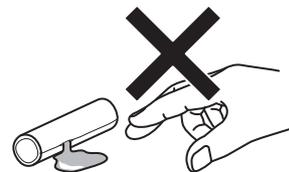
・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁　止

### 電池の＋と－の向きを正しく入れてください

・破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

表示通りに入れる

### アルカリ電池の液が漏れた場合は素手で触らないでください

・皮膚の炎症、失明やけがの原因となることがあります。

接触禁止

**※使用済み電池の処分について**

・使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

# 使用上のお願い

## 守っていただきたいこと

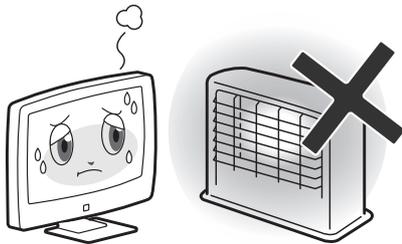


### 国外では使用できません

・この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送形式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

### 設置について

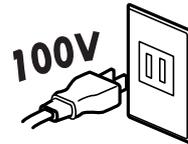
・発熱する機器の近くには本機を置かないでください。

・本機の上には物を置かないでください。

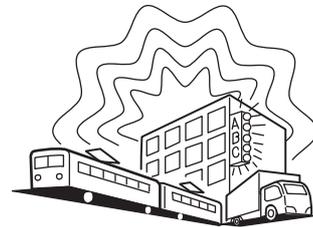
・不安定な場所や湿気の多い所に置かないでください。

・窓際に置く場合は、雨や雪などで濡らさないようご注意ください。

### 電源・電圧について

・指定（AC100V 50/60Hz）以外の電源は使わないでください。
指定以外の電源を使用した場合は故障の原因となります。

・電源コードは、必ず付属品をお使いください。

### アンテナについて

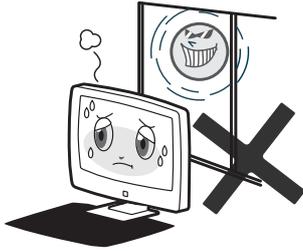
・妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一、アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

・アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。

・アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検・交換を心がけてください。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが痛みやすくなります。
映りが悪くなったときは、設置店へお問い合わせください。

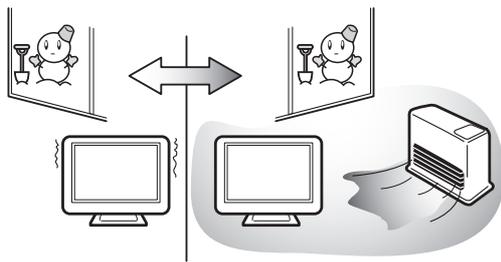
# 使用上のお願い（つづき）

## 守っていただきたいこと（つづき）

### 直射日光や熱気を避けてください

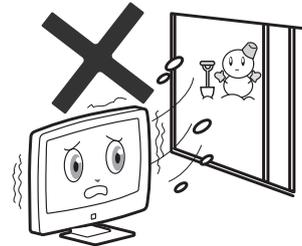
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置したりすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。

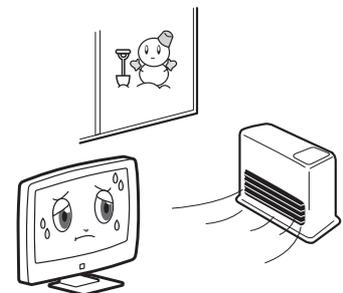
### 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

・急激な温度変化が起こる部屋（場所）でのご使用は画面の表示品位が低下する場合があります。

### 低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

・ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが故障ではありません。常温に戻れば回復します。

・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。

使用温度：0℃～ +40℃

### 結露について

・本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などでは、表面や内部に結露（水滴が付着）が発生することがあります。そのままご使用になると故障の原因となりますので、結露が起きた時は結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでください。

# 使用上のお願い（つづき）

## 守っていただきたいこと（つづき）

### 電磁波妨害に注意してください

・本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

### キャビネットのお手入れのしかた

・お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

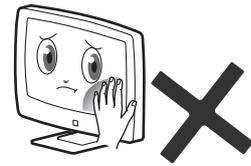
・汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。

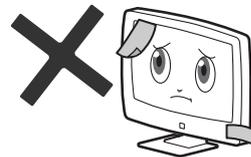
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。

・キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

・殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

### 取り扱い上のご注意

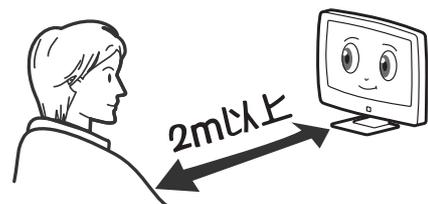
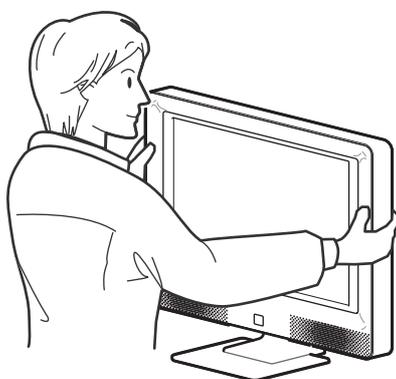
・液晶パネルを強く押したりしないでください。割れることがあり危険です。
また、落としたり強い衝撃をあたえないようにしてください。

### ステッカーやテープなどを貼らないでください

・キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

### テレビを見るときは、テレビから2 m以上離れた位置でご覧ください

・目がちかちかするときは、画面から遠ざかってください。

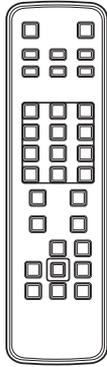
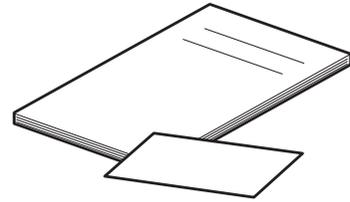
・目のけいれん、頭痛やめまいを感じたら、テレビを見ることを中止してください。

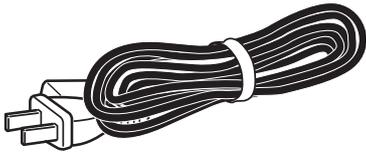
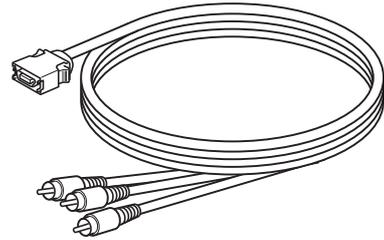
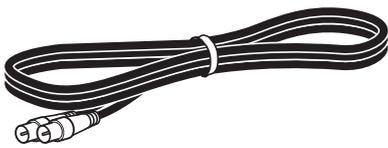
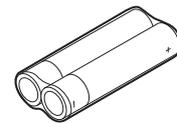
はじめに

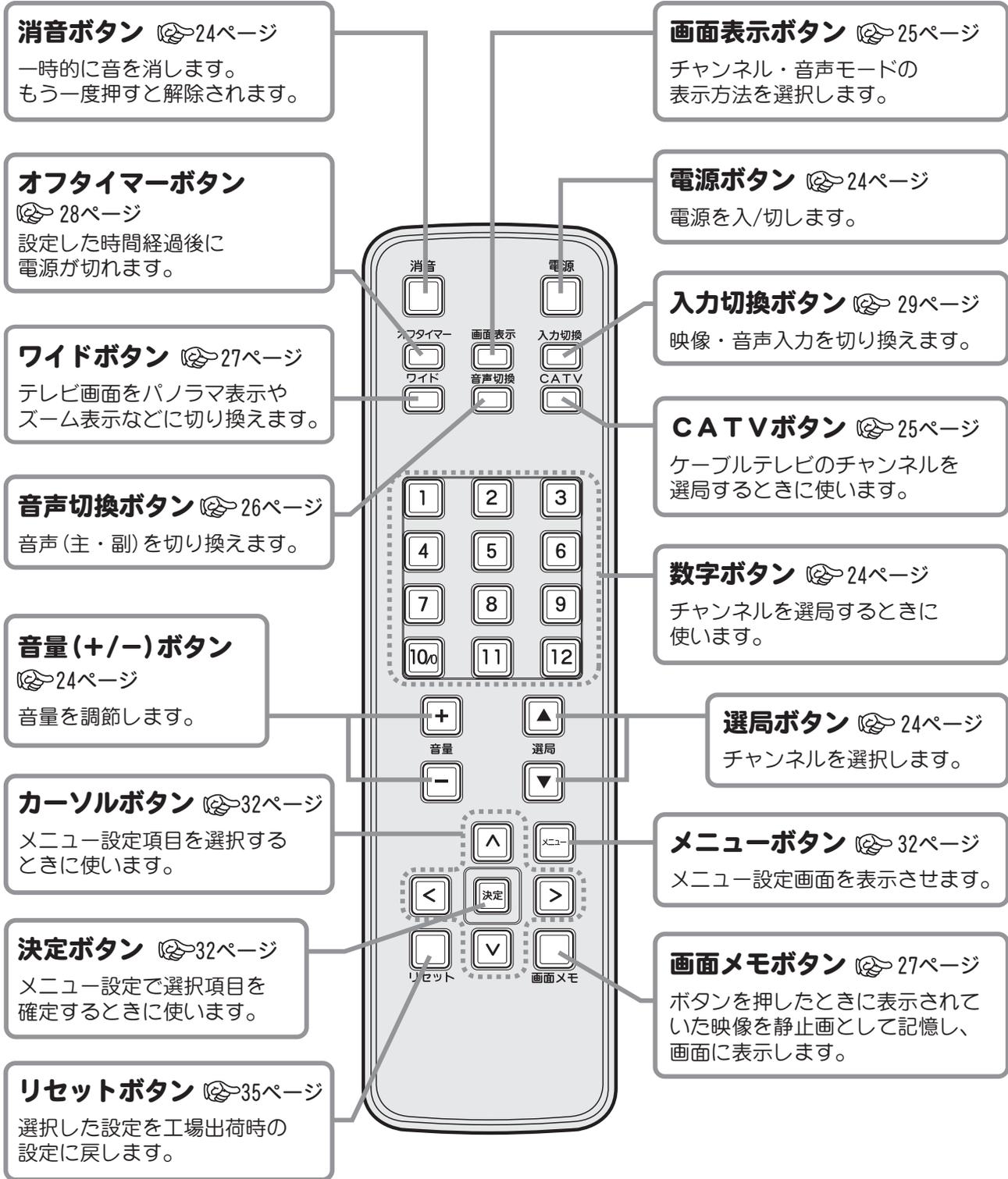
# 第 2 章

# 準備する

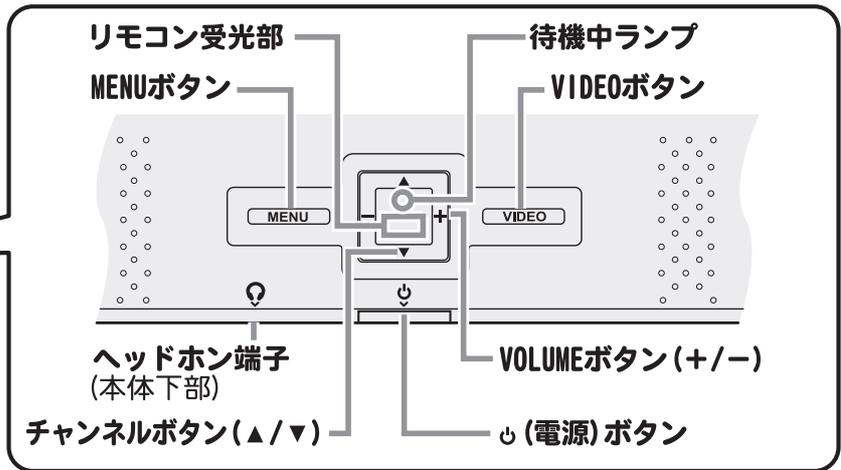
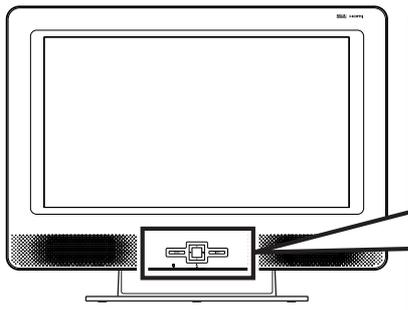
# 付属品

下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

**リモコン（1 個）**

**取扱説明書・保証書（各 1 部）**

※保証書にはお買い上げ日をご記入のうえ、大切に保管してください。

**電源コード（1 本）**

**D 端子変換ケーブル（1 本）**

**アンテナケーブル（1 本）**

**単 4 乾電池（2 個）**

※この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

# 各部のなまえ（リモコン）

準備する

# 各部のなまえ（本体）

**本体/リモコンボタン対応表**

本体のボタンはリモコンの各ボタンと同じはたらきをします。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　体 | －／＋　▲／▼ | MENU | ⏻ | VIDEO | ▲／▼ |
| リモコン | ＋　音量　－ | メニュー | 電源 | 入力切換 | ▲　選局　▼ |

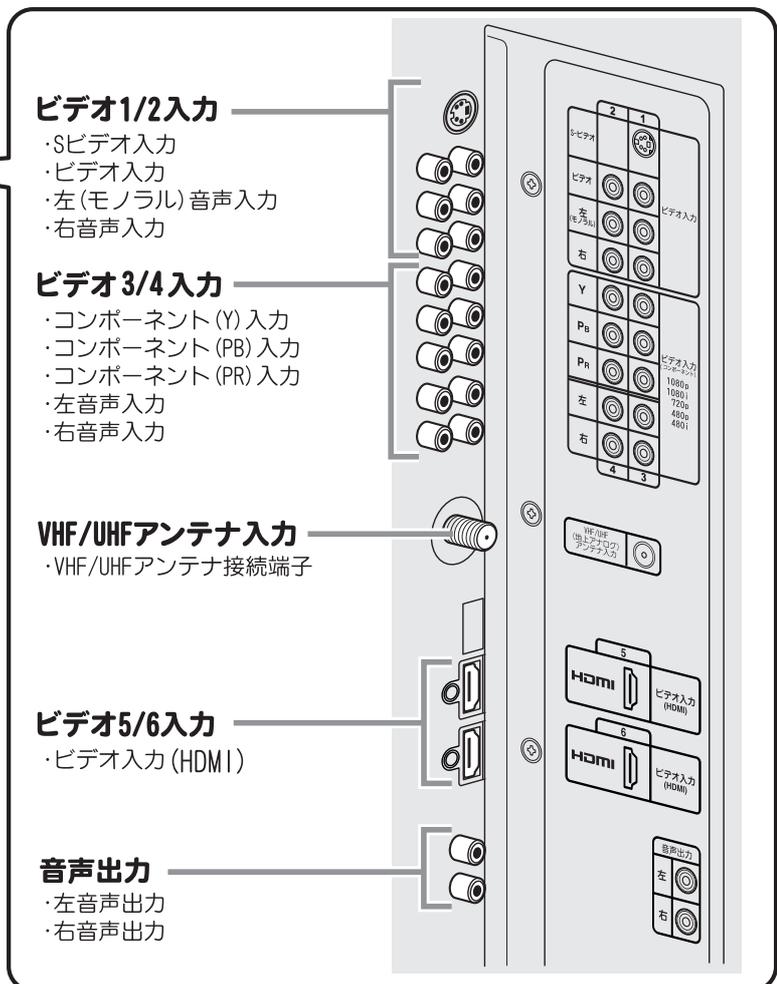
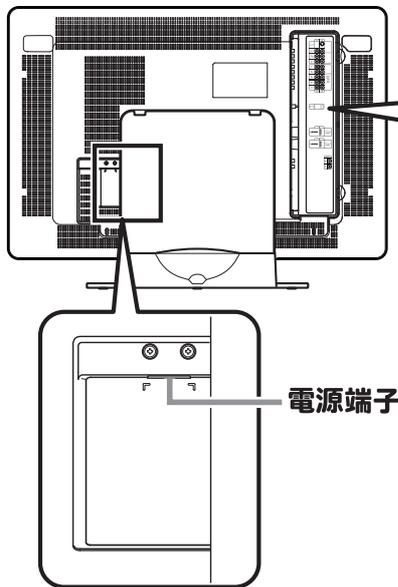
**ビデオ1/2入力**
- ･Sビデオ入力
- ･ビデオ入力
- ･左(モノラル)音声入力
- ･右音声入力

**ビデオ3/4入力**
- ･コンポーネント(Y)入力
- ･コンポーネント(PB)入力
- ･コンポーネント(PR)入力
- ･左音声入力
- ･右音声入力

**電源端子**

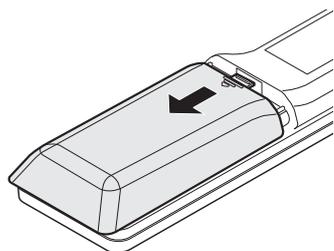
**VHF/UHFアンテナ入力**
- ･VHF/UHFアンテナ接続端子

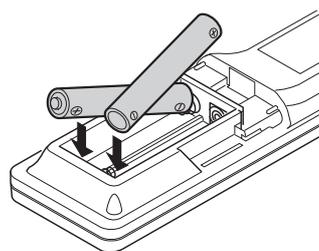
**ビデオ5/6入力**
- ･ビデオ入力(HDMI)

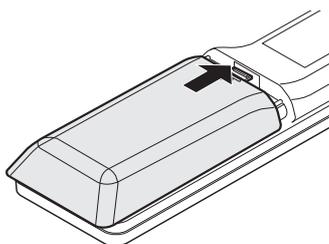
**音声出力**
- ･左音声出力
- ･右音声出力

# リモコンの準備と使いかた

## 乾電池の入れかた

**1 カバーをあけます**

▽ の部分を押しながら、カバーを
下方にスライドさせます。

**2 乾電池を入れます**

単 4 乾電池 2 本をケース内の表示通りに
入れてください。
（⊕、⊖の位置を正しく入れてください。）

**3 カバーを閉めます**

パチンと音がするまでカバーを
上方へスライドさせます。

## 使いかた

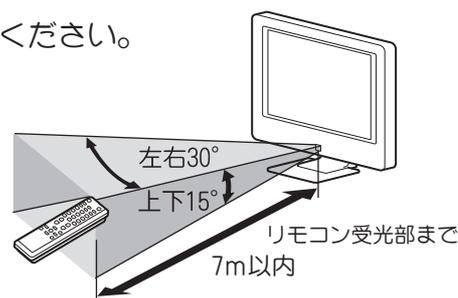
●リモコンの先端部を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンの操作範囲は本体正面よりおよそ 7 メートル以内で、
本体正面より左右 30° 以内、上下 15° 以内です。

●リモコン操作でテレビが動作しない場合（テレビ本体の
ボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が
考えられます。新しい電池に交換してください。

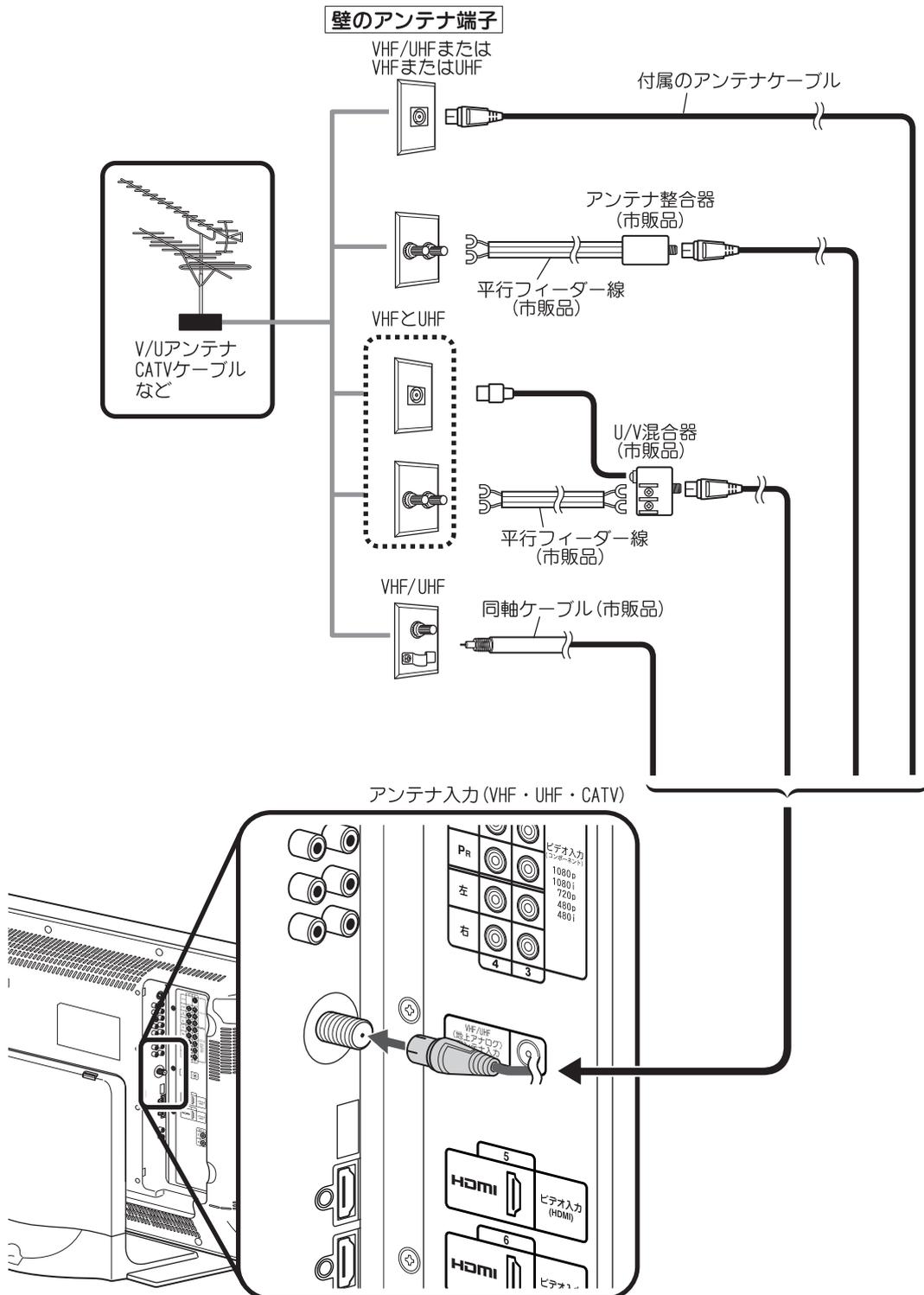
●リモコンを直射日光の当たる場所に放置したり、取り付けないでください。
熱により変形したり、誤動作する場合があります。

●本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。
照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。

●リモコンに強い衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり温度の高いところに置かないでください。

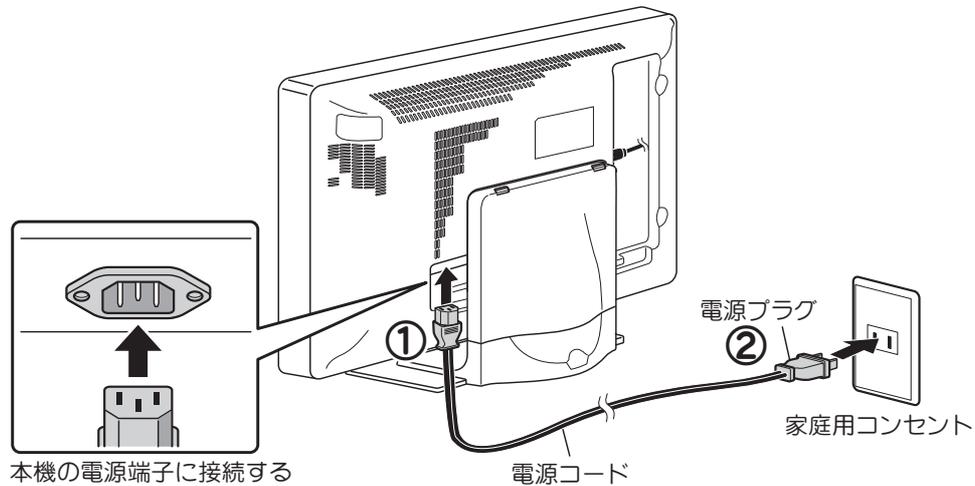
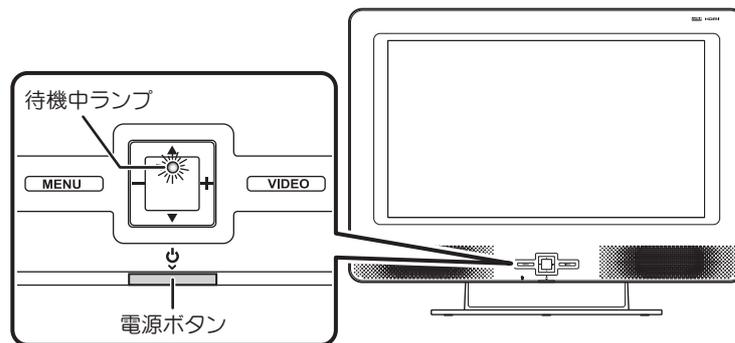
●使用済み電池の処分について
使用済みの電池は地域の規則に従って処分してください。

# アンテナを接続する

## VHF/UHF アンテナ・CATV ケーブル

本機には、VHF/UHF/CATV 用アンテナケーブル 1 本が付属しています。
付属のアンテナケーブル、または市販のアンテナケーブル・整合器などを、使用するアンテナ端子に応じて接続し、テレビのアンテナ入力端子に接続してください。

CATV 用セットトップボックス（ホームターミナル）等の外部機器を接続する際は、
25 ページをご参照ください。

準備する

# 電源コードを接続する

付属の電源コードをテレビの電源端子に差し込み、電源プラグを家庭用コンセントに接続してください。
前面の待機中ランプが赤く点灯します。

（必ず①、②の順に接続してください。）

**ご注意**

- 電源コードを抜き差ししやすいように、コンセントの近くに設置してください。

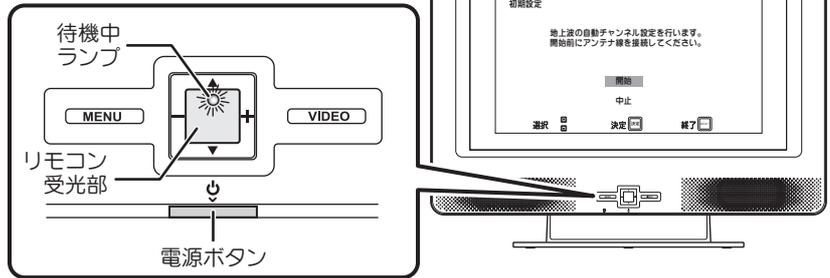
# 初期設定をする

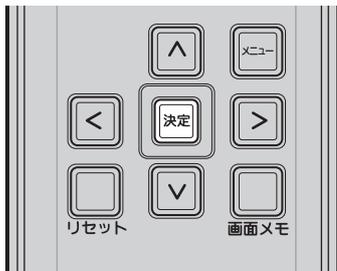
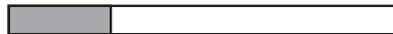
はじめてテレビの電源を入れると、自動的に受信チャンネルの設定が行われます。
本機は受信できるVHFとUHFの放送電波（地上アナログ放送）を自動的に検出し、記憶します。

**ご注意**

- アンテナ接続が完了するまでは本機の電源を入れないでください。アンテナを接続していない状態では、正常な初期設定ができない場合があります。

## 1 テレビ本体の ⏻ ボタンを押します

電源が入り、初期設定画面が表示されます。
待機中ランプは消灯します。

## 2 リモコンの 決定 ボタンを押します

受信チャンネルの自動設定プログラムがスタートし、スキャンが行われます。

自動チャンネル設定が終了すると、受信した一番若い番号のチャンネルが表示されます。

**ご注意**

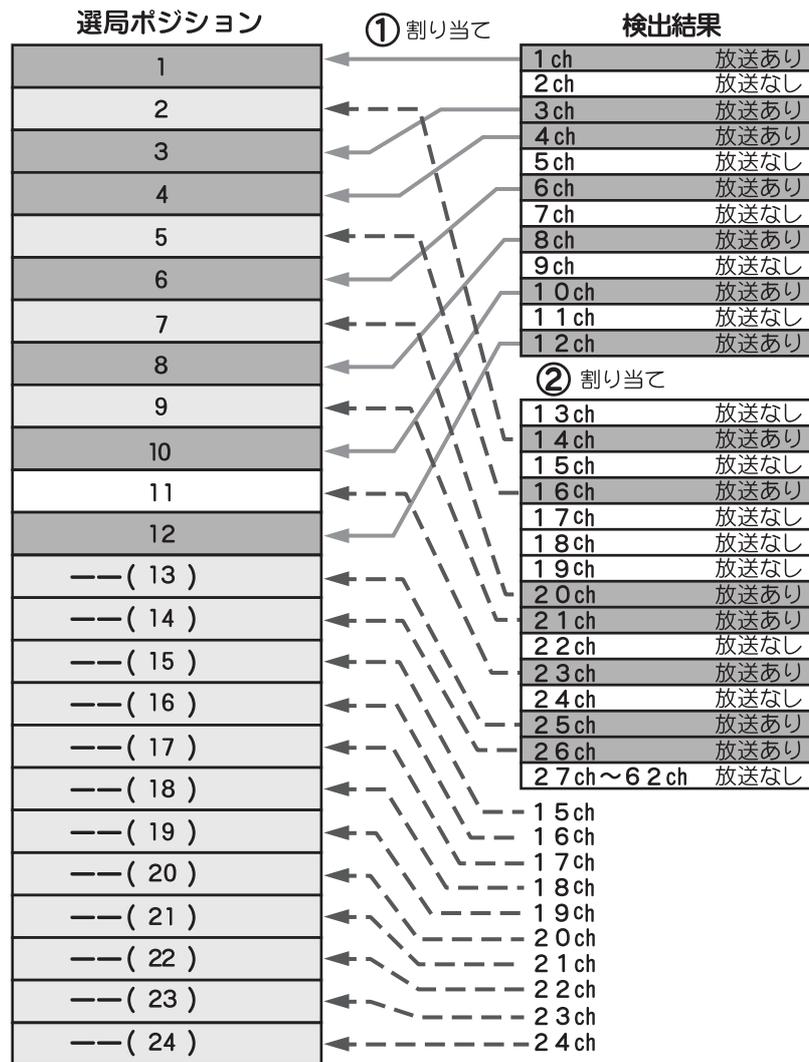
- 受信状態が悪いと、本来受信できる放送局も受信できない場合があります。
- 画面が表示されない場合は、46ページをご覧ください。

# 初期設定をする（つづき）

自動チャンネル設定終了後、選局ポジション（1 ～ 24）には、受信結果が次のように設定されます。

① 1 ～ 12ch のうちで受信できたチャンネルがチャンネル番号と同じ数字ボタンに登録されます。

② 13 ～ 62ch のうちの受信できたチャンネルが、まだ割り当てられていない数字ボタンに対して、小さい数字ボタンから順に登録されます。

■ 自動設定によるチャンネル割り当て例

※電源を「オン」にする前にアンテナ線を接続していない場合は、チャンネル設定ができません。

※初期設定画面は、お買い上げ後最初にテレビ電源を「オン」にすると自動的に表示されます。

※チャンネル設定メニュー（☞ 41 ページ）で自動設定することもできます。また、どのように設定されているかも確認できます。

※すべての設定を工場出荷設定に戻す場合は、設定初期化を行ってください（☞ 44 ページ）。

※チャンネル自動設定完了前にテレビの電源を「オフ」にした場合は、次回「オン」にしたとき、再度初期設定画面を表示します。

※CATV の放送は自動登録されません。CATV チャンネル（C13ch ～ C63ch）の登録については40 ページをご覧ください。

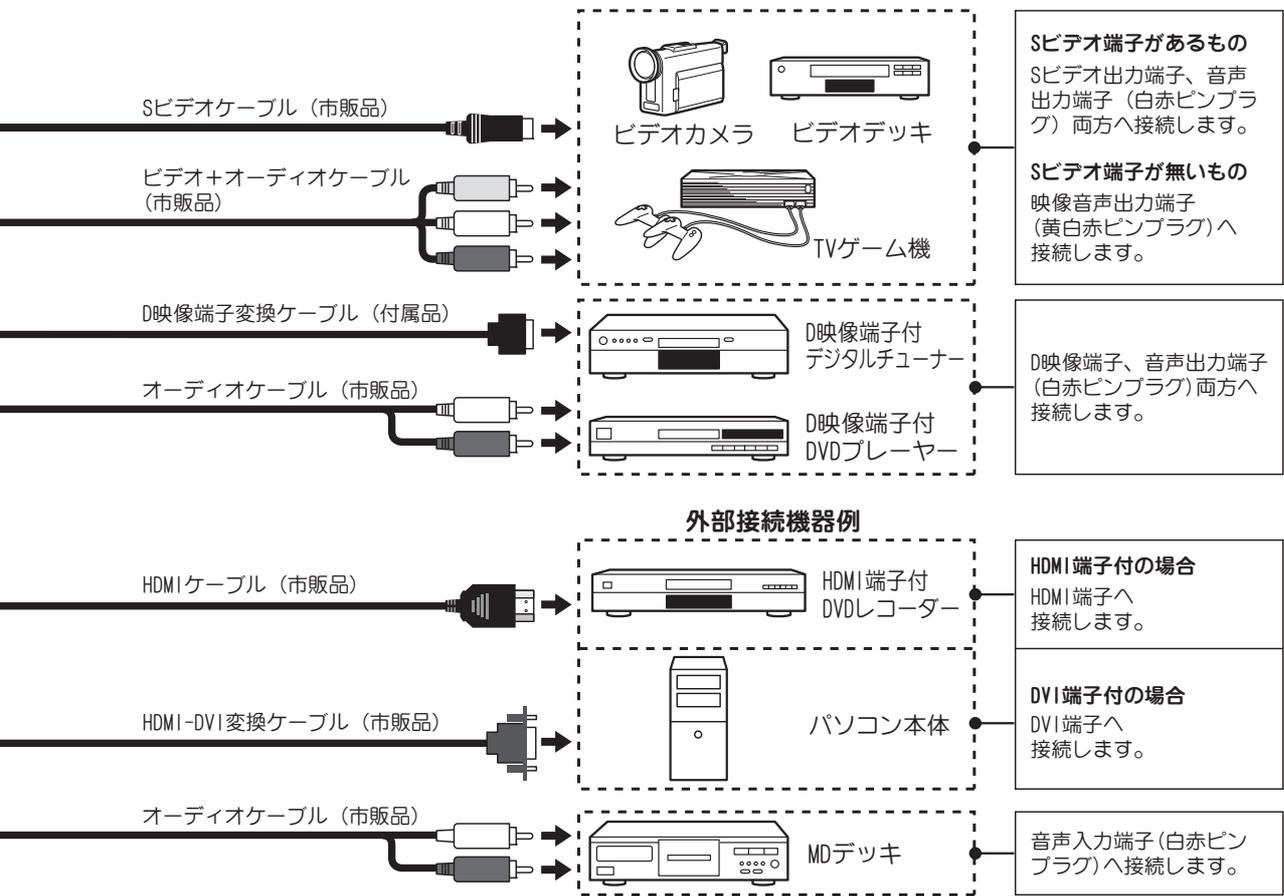
# 他の外部機器を接続する

**他の外部機器を接続しない場合は、第３章「テレビを見る」（ 23 ページ）へ進んでください。すぐにテレビ番組をお楽しみいただけます。**

※１ ビデオ１入力のＳビデオ端子とAVケーブルのビデオ端子（黄色ピンプラグ）の両端子に同時に機器を接続した場合、Ｓビデオ端子が優先して接続されます。
※２ 本機に映像出力端子はありませんので、本機から直接録画することはできません。
※３ HDMI および HDMI ロゴは HDMI LICENSING LLC の商標または登録商標です。

## ご注意

- 外部機器を接続するときは、必ず本機および接続する外部機器の電源を「切」にしてください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子は、色分けがしてあります。ケーブルと接続端子のそれぞれの色が合うように接続してください。
- 映像入力端子 / 音声入力端子には、映像 / 音声信号以外のものを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- HDMI ケーブルで映像のみを本機へ入力する場合、または HDMI-DVI 変換ケーブルで接続する場合は、ビデオ 5/ ビデオ 6（HDMI）音声入力のページ（ 37 ページ）をご覧ください。
- 接続する機器の詳しい使用方法や接続については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続時のご注意
  - ・プラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続はノイズの原因となります。
  - ・プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜き取ってください。
  - ・複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切っておいてください。
  - ・接続した機器とテレビの画像や音声にノイズがでるときは、お互いを十分に離してください。

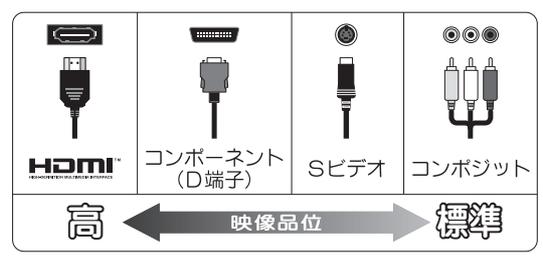
本体背面にある6系統の外部入力端子に、ビデオデッキやDVDプレーヤー、CATVセットトップボックス（ホームターミナル）、地上デジタルチューナーなどを接続して、映像や音声を楽しむことができます。

## ご参考

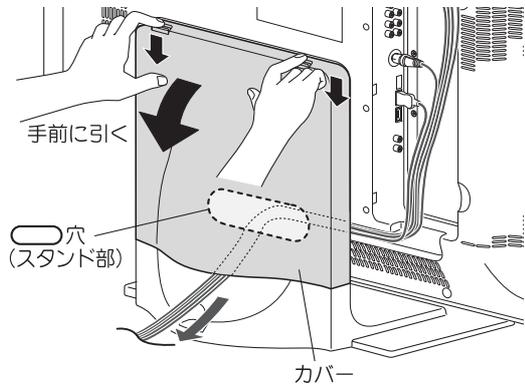
● 各端子の映像クオリティについて
右図を参考に最適な映像端子をお選びください。

| HDMI | コンポーネント（D端子） | Sビデオ | コンポジット |
|---|---|---|---|
| 高 | ← 映像品位 → | | 標準 |

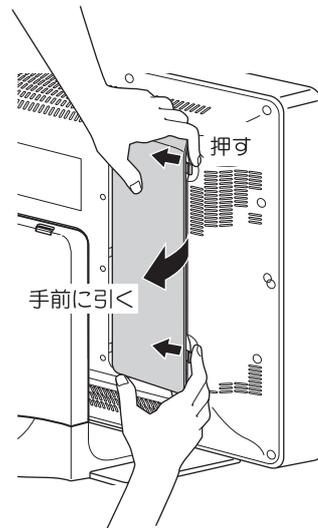
● HDMI端子について
1本のケーブルで映像信号や音声・コントロール信号をデジタル伝送でき、デジタル信号をアナログ変換しないので最も優れた映像品位が得られます。

● コンポーネントビデオ端子について
・コンポーネントビデオ信号は色差信号とも呼ばれ、映像を輝度信号（白黒成分）と2種類の色信号（青：B-Y／赤：R-Y）に分離して伝送します。
デジタルチューナーやDVDでは輝度信号と色信号を別々に記録してあるため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。
・付属品のD映像端子変換ケーブル【D映像端子⇔コンポーネントビデオ端子（緑青赤ピンプラグ）】を使うことにより、D映像端子のついた機器を接続できます。

● Sビデオ端子について
・より鮮明な画質を得るために、映像信号を輝度（明るさ）と色に分離したものです。
本機のビデオ1入力には、Sビデオ端子＋オーディオ端子（白赤ピンプラグ）またはビデオ＋オーディオ端子（黄白赤ピンプラグ）のどちらも接続可能です。
・Sビデオ端子が無く、ビデオ端子（黄色ピンプラグ）のついた機器の映像を見るときは、ビデオ＋オーディオ端子（黄白赤ピンプラグ）に接続してください。

## ケーブルの処理

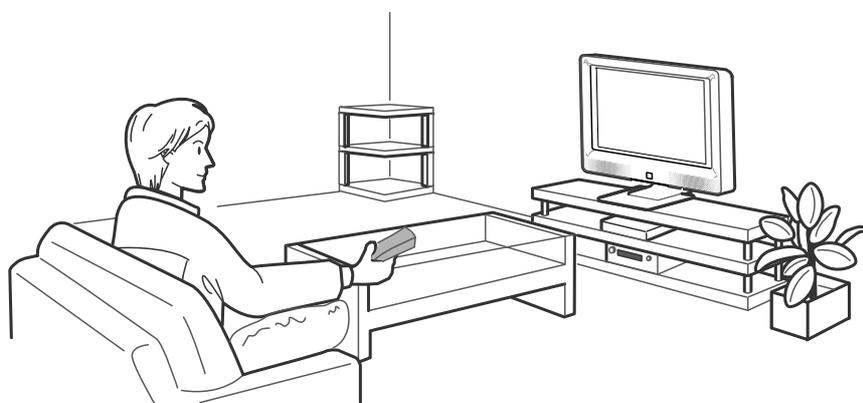
カバーをはずし、本体スタンド部にある ◯ 穴にケーブルを通します。
（カバーは２か所のツマミを押し、手前に引くとはずれます。）
カバー下部の切欠きにケーブルを通します。

## コネクターカバーについて

● **はずしかた**

２か所のツマミを押し、手前に引きながら取りはずします。

● **取り付けかた**

左側 3 か所のツメを本体の穴に入れ、ロックされるまで押し込みます。そのあと右側 2 か所のツマミ付近を押してロックしてください。

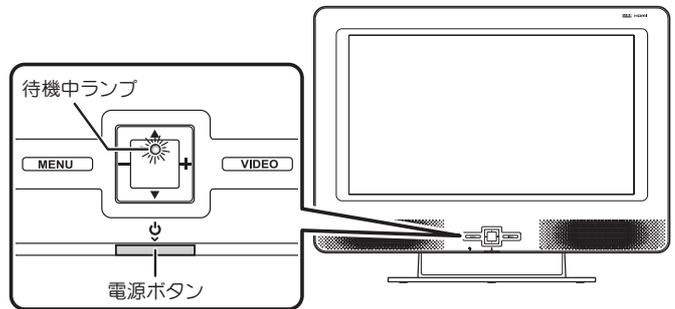
※ コード類をはさまないようご注意ください。

# 第３章

# テレビを見る

# テレビを見る

通常の操作はリモコンで行います。テレビ本体に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

## 1 電源を入れます

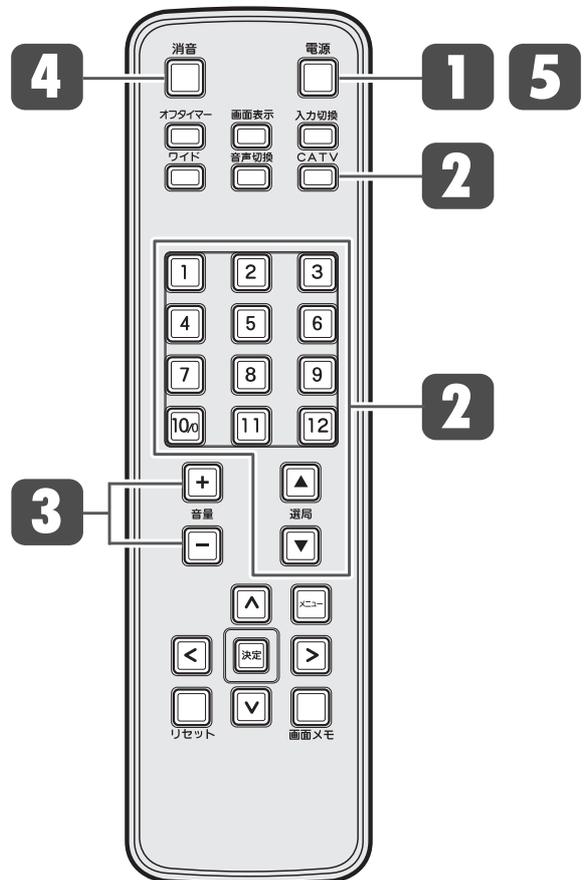
リモコンの 電源 ボタン、**選局（▲/▼）ボタン**、またはテレビ本体の ⏻ **ボタン**を押します。前面下部の待機中ランプが消えて電源が入ります。

## 2 チャンネルを選びます

### 地上アナログ放送を見る

**数字ボタン**または**選局（▲/▼）ボタン**でチャンネルを選びます。

### ケーブルテレビ（C13ch～C63ch）を見る（☞ 次ページ）

CATV **ボタン**を押し、**数字ボタン**でチャンネル番号を入力します。

**※外部機器（ビデオ・DVD 等）を見るとき**
（☞ 29 ページ）

## 3 音量を調節します

**音量（＋ / －）ボタン**で音量を調節します。
画面下側に音量が表示されます。

## 4 音を一時的に消します

消音 **ボタン**を押します。
画面下側に「消音」と表示されます。
・もう一度 消音 **ボタン**を押すと、元の音量に戻ります。

## 5 電源を切ります

リモコンの 電源 **ボタン**または、本体の ⏻ **ボタン**を押すと電源待機状態となり、待機中ランプが点灯します。

**ご参考**

- テレビ電源の待機中にリモコンの数字ボタンを押すと、電源が入り、押したボタンのチャンネルに切り換わります。

# CATV チャンネルを見る（CATV）

ケーブルテレビ用アンテナと本機が接続されている場合、CATV の放送を受信できます。
ただし、スクランブルがかかっている番組を見るには CATV 事業者とのご契約が必要です。

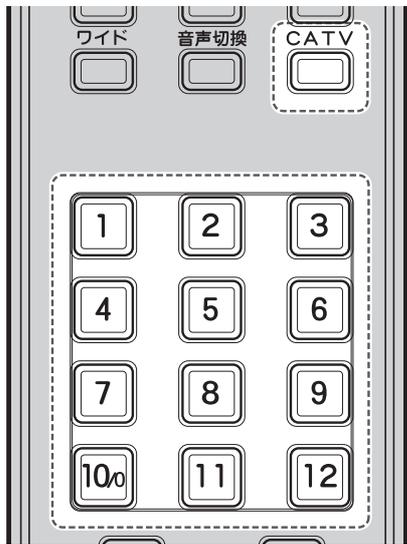
**1 電源を入れます**

**2 CATV ボタンを押します**

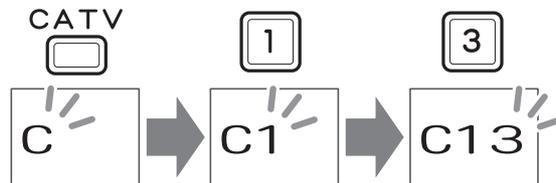
画面右上に「C」の表示が出ます。

**3 数字ボタンでチャンネル番号を入力します**

画面上に番号が順次表示され、入力したチャンネルを選局します。

例：C13 チャンネルを選局する場合

※選局可能なチャンネル番号範囲は C13 ～ C63ch です。範囲外のチャンネル番号は入力できません。
※0 を入力するには 10/0 **ボタン**を押します。

**お知らせ**

- **CATV 事業者とご契約され、受信機（セットトップボックス、ホームターミナル）をお持ちの方へ**
  接続方法や選局方法等は CATV 受信機の取扱説明書に従って、接続・操作を行ってください。

# チャンネル番号などを表示する（画面表示）

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

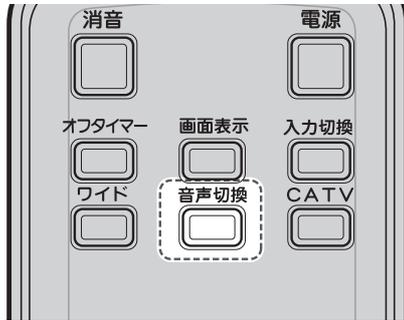
**1 画面表示 ボタンを押します**

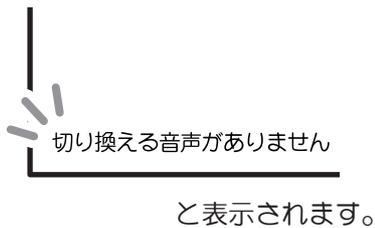
画面右上に受信中のチャンネル番号、音声モード、端子の種別（コンポーネント/HDMI）映像フォーマット、左下にワイドモードが表示されます。

※音声モードは外部入力を選択した場合は表示されません。
映像フォーマット（480i、480p、1080i、720p、1080p、VGA）と端子の種別はビデオ 3 ～ 6 を選択したときに表示されます。（☞ 29 ページ）
※チャンネル番号以外は 3 秒後自動的に消えます。

**2** もう一度 画面表示 **ボタン**を押すと、表示は消えます。

# 二カ国語音声を選ぶ（音声切換）

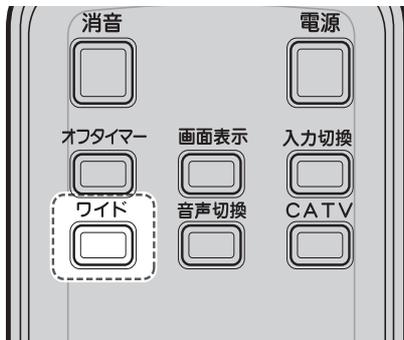
日本語と英語など二カ国語放送や複数音声番組の場合、音声を切り換えることができます。

### 音声切換 ボタンを押します

チャンネル番号、音声（主音声・副音声・主/副）が画面右上に表示されます。
ボタンを押すたびに「主音声」「副音声」「主/副」の順に切り換わります。

※この設定はメニュー画面でも行うことができます（☞ 36 ページ）。

**ご注意**

- 二カ国語放送でない場合、ボタンを押しても切り換わりません。
- 外部入力を選択した場合（☞ 29 ページ）「この入力では無効です」と表示され、音声切換はできません。
- 主/副にすると、左スピーカーから主音声、右スピーカーからは副音声が出力されます。

# パノラマやズーム画面表示にする（ワイド）

表示画面をフル表示、ノーマル表示、パノラマ表示、ズーム表示に切り換えることができます。
※映像のフォーマットやアスペクト比、入力経路によって選択できないワイドモードがあります。

### ワイド ボタンを押します

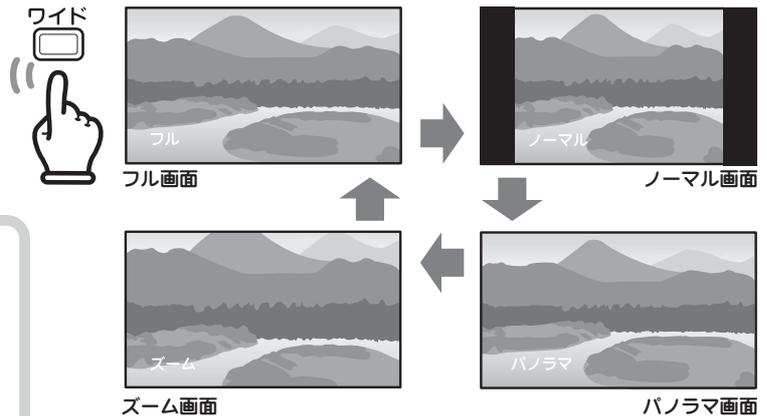
ボタンを押すたびに、画面が次のように切り換わります。

フル画面

ノーマル画面

パノラマ画面

ズーム

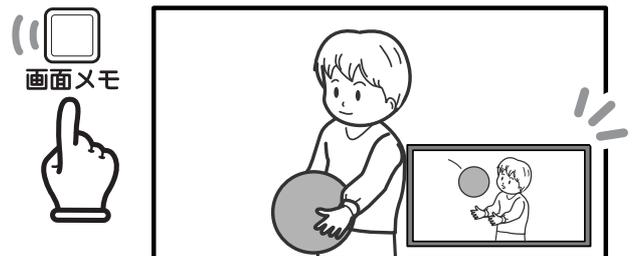
ズーム画面

**ご参考**

- パノラマ表示では、4:3の映像を違和感少なく画面全体に拡大します。
- ノーマル表示では、画面の左右に映像が表示されない領域が生じます。
- 映像フォーマットが 720p/1080i/1080p の場合、パノラマ表示は選択できません。
- メニュー画面の「画面設定」（☞ 38ページ）でも同様の設定ができます。

# 静止画にする（画面メモ）

現在受信中の映像を静止画として記憶し、表示します。
電話番号や地図・レシピなど、メモを取りたいときに便利です。

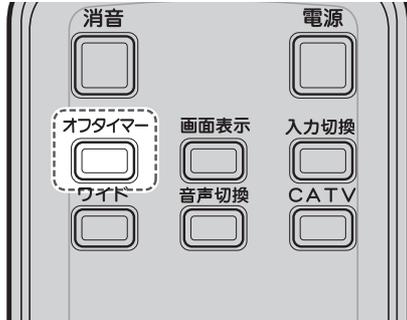
**1** 画面メモ **ボタンを押します**

画面右下に、そのとき表示されていた映像が表示されます。

**2** もう一度 画面メモ **ボタン**を押すと、画面メモは消えます。

**ご参考**

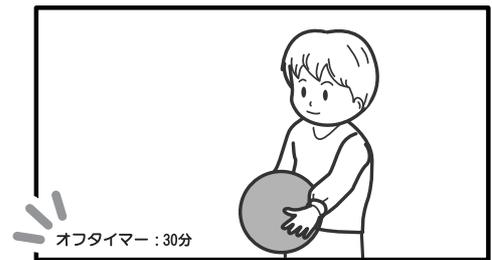
- 画面メモは、チャンネル選局、ワイド表示切換、外部入力の切換などを行うと、自動的に消去されます。

# オフタイマーを使う（オフタイマー）

オフタイマーを設定すると指定した時間後に電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。オフタイマーは 30 分単位で 30 分から 120 分まで設定できます。

**1** オフタイマー **ボタンを押します**

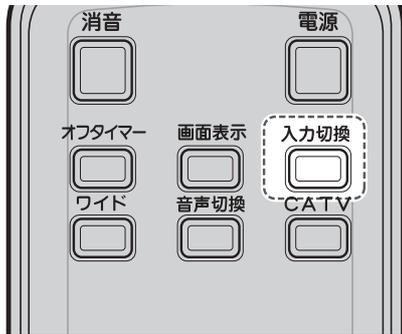
オフタイマー設定画面になります。
ボタンを押すたびに「30 分」→「60 分」→「90 分」→「120 分」→「切」→「30 分」…のように設定できます。

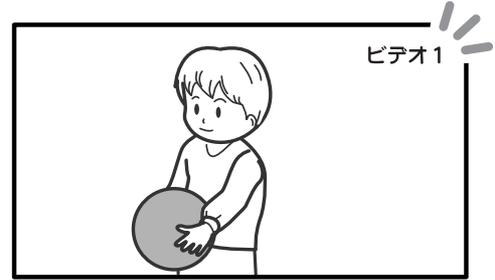
画面左下にタイマー設定時間が表示されます。

・ 設定時間が経過すると…
タイマー動作 1 分前に「オフタイマー：まもなく電源が切れます」と画面表示され、自動的に電源待機状態になります。

**ご注意**

- 電源を切った場合、オフタイマーは解除されます。
- オフタイマーがすでに設定されている状態で、オフタイマー **ボタン**を押すと、残り時間に加算された設定時間となります。
（1 ～ 30 分の場合は「60 分」、31 ～ 60 分の場合は「90 分」、61 ～ 90 分の場合は「120 分」、120 分の場合は「切」から設定を開始します。）

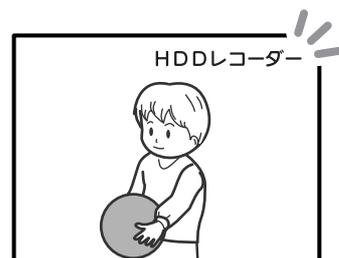
# ▌外部接続した機器を使う（入力切換）

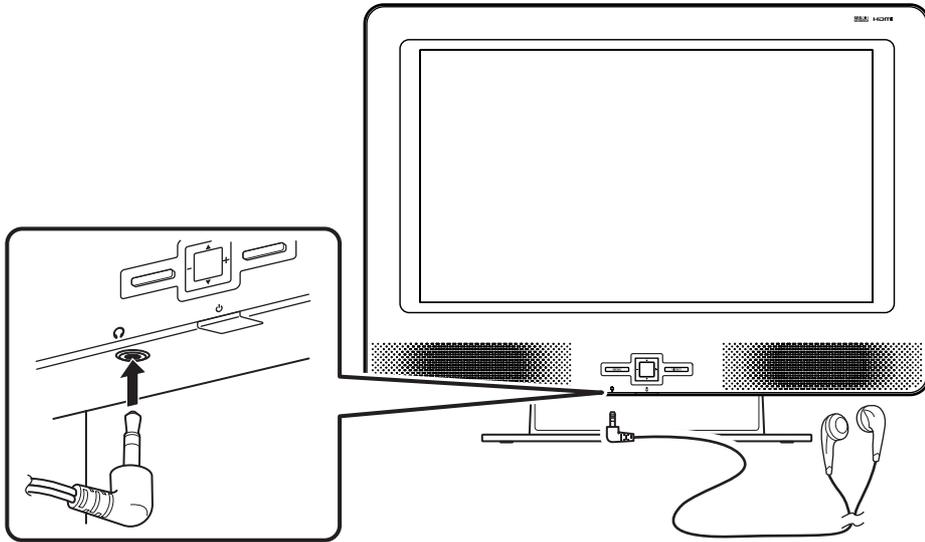
背面の外部入力端子に接続した、ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの使用時に入力切換を行います。

**1** 入力切換 **ボタンを押します**

ボタンを押すたびに入力が切り換わります。画面右上にチャンネル番号または入力端子の名称が表示されます。

**2 各操作を行います**

音量調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

- 画面に表示される名称は、接続した機器に合わせて変更することができます。詳しくは入力端子の設定（☞ 42 ページ）をご覧ください。

テレビを見る

# ヘッドフォンで楽しむ

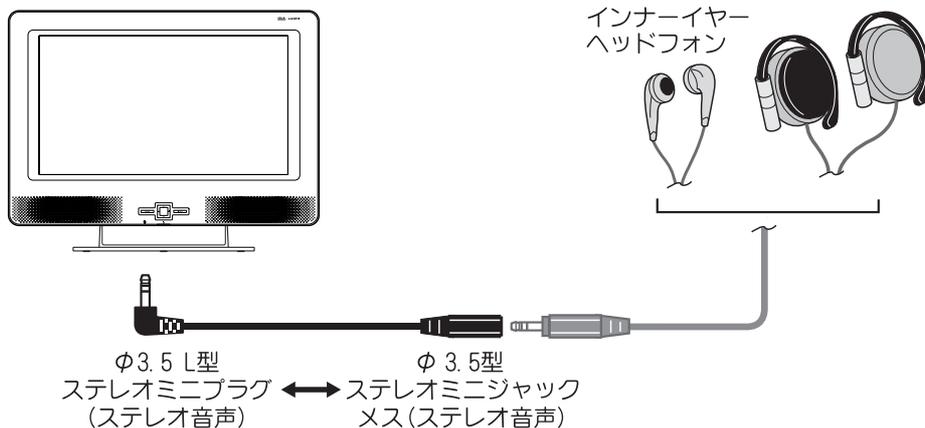
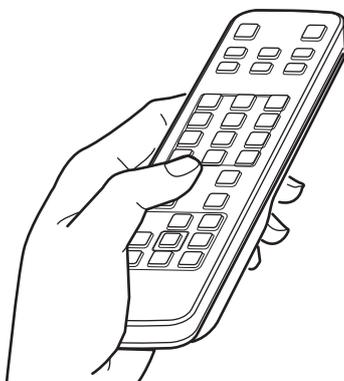
市販のヘッドフォンを使用するときは、本体下部にあるヘッドフォン出力端子に接続してください。
※ヘッドフォンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。

**ご注意**

- ヘッドフォンプラグは確実に挿入してください。
 （不完全なときは、スピーカーから音もれすることがあります。）

本体のヘッドフォン出力端子は、φ 3.5 ステレオミニジャックとなっています。
ステレオミニプラグ以外のヘッドフォンの場合は、ステレオミニプラグに変換して接続してください。

また、ストレート型のステレオミニプラグのヘッドフォンを接続する場合、確実に挿入できないことがあります。この場合は、市販品のφ 3.5 L型ステレオミニプラグとφ 3.5 ステレオミニジャックの変換コード、または変換コネクタを使って接続してください。

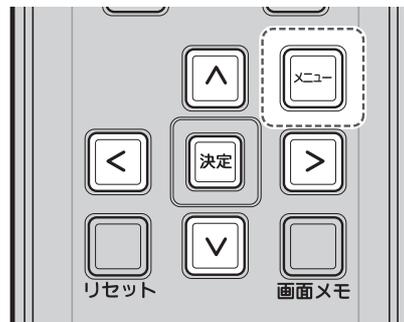
### ヘッドフォン接続例

テレビを見る

# 第４章

# 各種設定のしかた

# 各種設定のしかた（メニュー）

※本機をはじめてご使用になる場合は、はじめに初期設定を行ってください（☞18 ページ）。

- [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。再度押すと元の画面に戻ります。
- メニュー画面では、映像・音声・チャンネル設定に関する各種調整・設定ができます（☞34 ページ）。
- 項目設定後に、すべての設定を初期（工場出荷時）状態に戻したいときは、設定初期化を行ってください（☞44 ページ）。

各メニューの設定項目については 34 ページのメニュー一覧表をご覧ください。
各設定項目はすべて以下の方法で設定が行えます。

**1** [メニュー] **ボタン**を押し、メニューを表示します。

**2** [∧] / [∨] **ボタン**を押し、設定したい第 1 階層のメニュー（ ① ）を選択します。
選択されている項目はアイコンの枠が緑色になります。

選択中は右の枠内にそのメニューで設定できる第 2 階層のサブメニュー（ ② ）が表示されます。

[決定] **ボタン**を押すと第 2 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライト（緑色）されます。

**3** [∧] / [∨] **ボタン**で選択項目のハイライト（緑色）を動かし、第 2 階層のサブメニューを選択します。

[決定] **ボタン**を押すと第 3 階層のサブメニューへ移り、選択項目がハイライトされます。

**4** [∧] / [∨]（または [<] / [>] ）**ボタン**で設定値を変更します。
設定中は画面下部中央に項目名と設定値が表示されます。

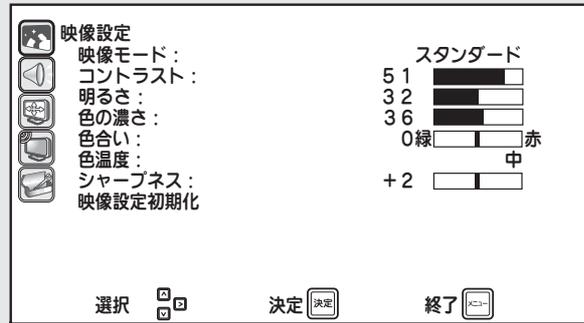
**5** [決定] **ボタン**を押すと設定を完了し、メニュー画面に戻ります。

# 各種設定のしかた（メニュー）（つづき）

## メニュー画面の基本操作

### メニュー画面を表示する・終了する

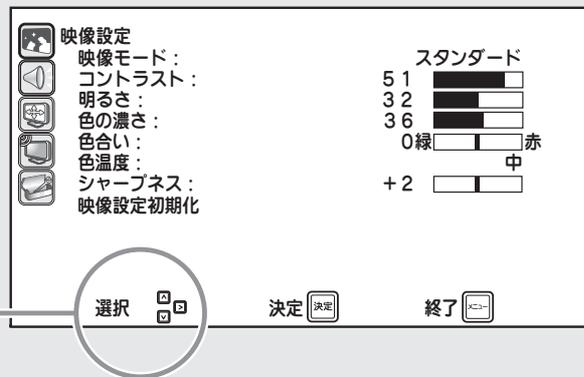
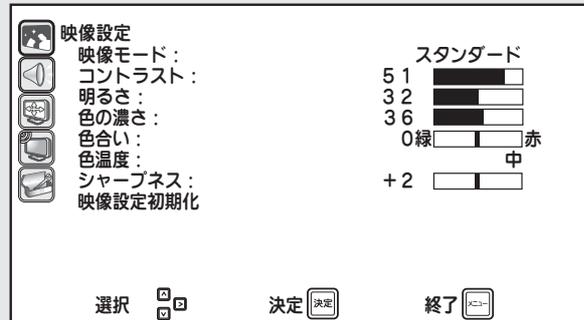
 ボタン

※再度押すとメニュー画面が消え、元の画面に戻ります。

### 項目の選択・カーソルの移動

 ボタン

※画面下には使用できるボタンが表示されます。

### 選択内容の確定

決定 ボタン

### ひとつ前の画面に戻る

決定 ボタン

※第３階層から第２階層に戻る場合のみ。

第２階層（サブメニュー）から第１階層へは ＜ ボタンで戻ります。

例）「映像モード」の場合

**第３階層**（「映像モード」設定画面）

決定 **ボタン**を押す

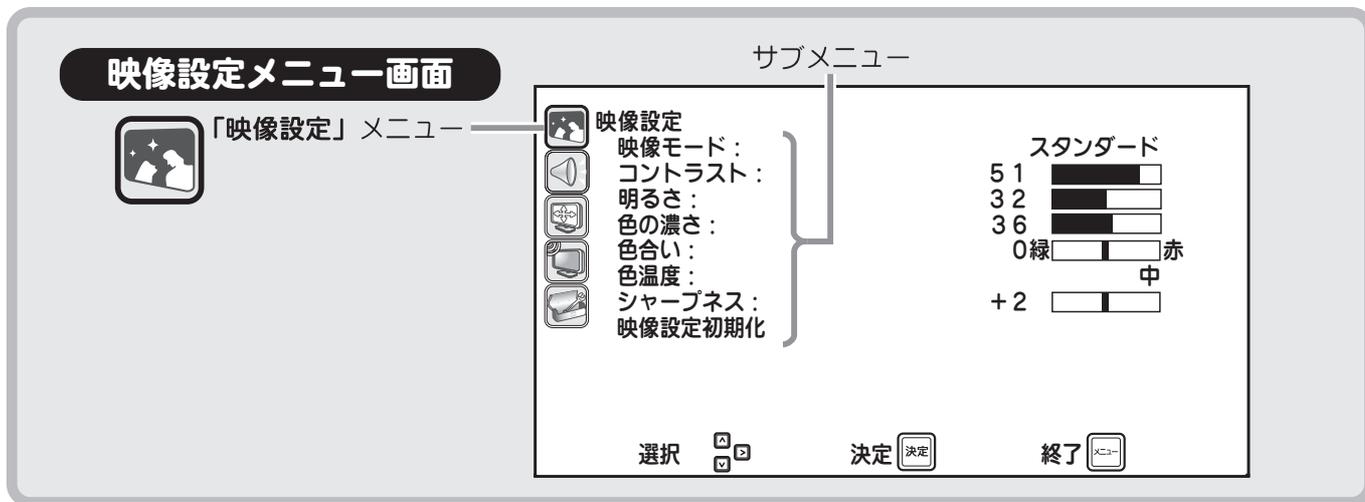
**第２階層**（「映像設定」サブメニュー画面）**に戻る**

# メニュー一覧表

| 第１階層（メニュー） | 第２階層（サブメニュー） | 第３階層 |
|---|---|---|
| ●メインメニュー | | |
| 映像設定　（35ページ） | ●映像設定メニュー | |
| | 映像モード | あざやか<br>ユーザー<br>シネマ<br>スタンダード |
| | コントラスト | 64段階 |
| | 明るさ | 64段階 |
| | 色の濃さ | 64段階 |
| | 色合い | 64段階 |
| | 色温度 | 「高」、「低」、「中」 |
| | シャープネス | 15階調 |
| | 映像設定初期化 | |
| 音声設定　（36ページ） | ●音声設定メニュー | |
| | 低音 | 33段階 |
| | 高音 | 33段階 |
| | バランス | 33段階 |
| | ステレオ/モノラル | 「オート」、「モノラル」 |
| | 二カ国語放送 | 「主」、「副」、「主/副」 |
| | SRS TruSurround XT | 「切」、「弱」、「中」、「強」 |
| | ビデオ５（HDMI）音声入力 | 「HDMI音声入力」、「ビデオ１～４音声入力」 |
| | ビデオ６（HDMI）音声入力 | 「HDMI音声入力」、「ビデオ１～４音声入力」 |
| | 音声設定初期化 | |
| 画面設定　（38ページ） | ●画面設定メニュー | |
| | 現在のワイドモード | フル、ノーマル、パノラマ、ズーム |
| | 自動ワイド切換 | 「入」、「切」 |
| | 標準のワイドモード | フル、ノーマル、パノラマ、ズーム、切 |
| | 垂直表示位置設定 | 「パノラマ」：−7～+7、「ズーム」：−15～+15 |
| | オーバースキャン | チューナー<br>ビデオ端子１～６<br>オーバースキャン設定の初期化 |
| | 画面設定初期化 | |
| チャンネル設定（40ページ） | ●チャンネル設定メニュー | |
| | 手動チャンネル設定 | チャンネル設定リスト |
| | 自動チャンネル設定 | 「実行」、「中止」 |
| その他の設定　（42ページ） | ●その他の設定メニュー | |
| | 入力端子の設定 | チューナー<br>ビデオ端子１～６<br>入力端子設定の初期化 |
| | 省電力モード | 「入」、「切」 |
| | 全ての設定を出荷状態に戻す | 「はい」、「いいえ」 |

※ 設定条件により選択できない項目があります
（グレーで表示されます）。

# 映像設定

メニュー画面で 映像設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ、[<] / [>]（または [∧] / [∨] ）**ボタン**で設定内容を変更できます。

## 映像モード

映像モードを切り換えます。
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、
シャープネスの設定は各映像モードごとに
記憶されます。

| モード | 設定内容 |
| --- | --- |
| あざやか | 鮮やかで明るい映像 |
| スタンダード | 標準的な映像 |
| シネマ | 映画を見るのに適した映像 |
| ユーザー | ユーザーのお好み設定用 |

## コントラスト

画面の明暗の差を調節します。

## 明るさ

画面の明るさを調節します。

## 色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。

## 色合い

画面の色合いを調節します。

## 色温度

高・中・低と切り換えるにつれて、
赤みがかった暖かみのある色調になります。

## シャープネス

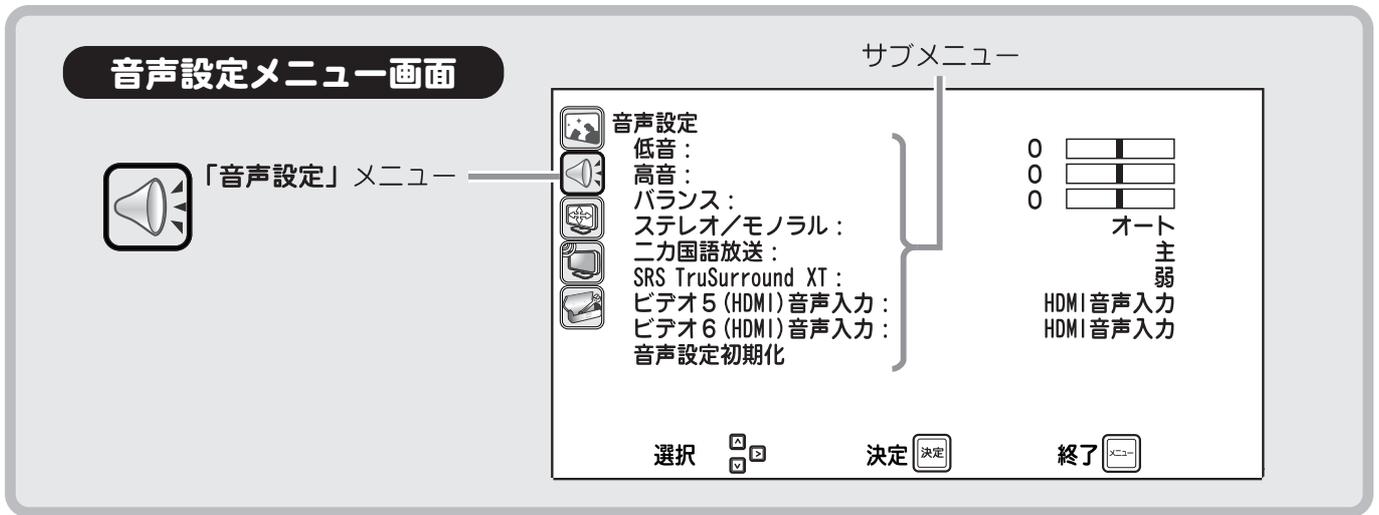
画面の輪郭を調節します。

## 映像設定初期化

[リセット] **ボタン**を押すか、または [∧] / [∨] **ボタン**で「映像設定初期化」を選択し [決定] **ボタン**を押すと、設定中の映像モードに関わる全項目が工場出荷時の設定に戻ります。

各種設定のしかた

# 音声設定

メニュー画面で音声設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ [∧] / [∨] **ボタン**（または [<] / [>] **ボタン**）で設定内容を変更できます。

## 低音

低音域の強調度を設定します。

## 高音

高音域の強調度を設定します。

## バランス

左右スピーカーの音量のバランスを設定します。
値が小さいほど左スピーカー寄りに、
大きいほど右スピーカー寄りになります。

## ステレオ／モノラル

アナログ放送視聴時のステレオ / モノラル出力の設定ができます。

※外部入力選択時はこのメニューを選択できません。

| 設 定 | 放送状態 | テレビ音声出力 |
|---|---|---|
| モノラル | モノラル放送 | モノラル出力 |
| | ステレオ放送 | |
| オート | モノラル放送 | モノラル出力 |
| | ステレオ放送 | ステレオ出力 |

## 二カ国語放送（主音声・副音声・主音声 / 副音声）

二カ国語放送の設定を行います。
この設定は音声切換ボタンを押しても変更することができます。（☞26 ページ）

※外部入力選択時はこのメニューを選択できません。

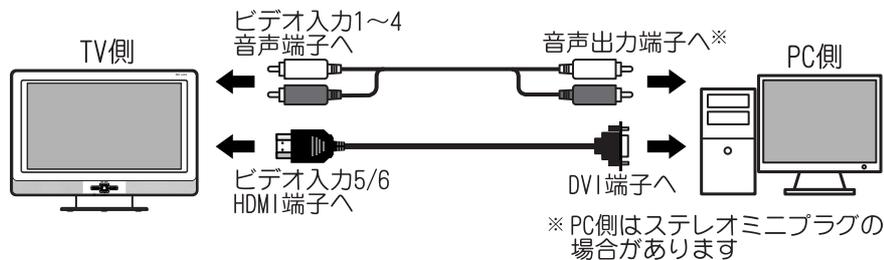
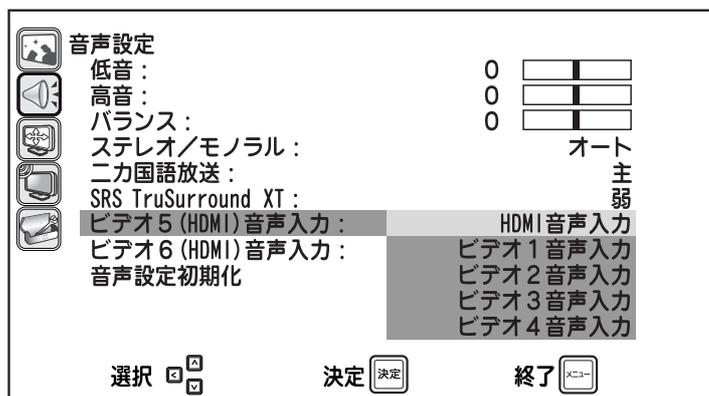
## SRS TruSurround XT

SRS TruSurround XT 機能を使うと、映画などの音声が迫力と立体感のある音で楽しめます。

※ SRS TruSurround XT®は SRS Labs, Inc. が開発した、2 つのスピーカーで 5.1ch のリアルなマルチチャンネルサラウンドを再生するバーチャルサラウンド技術です。

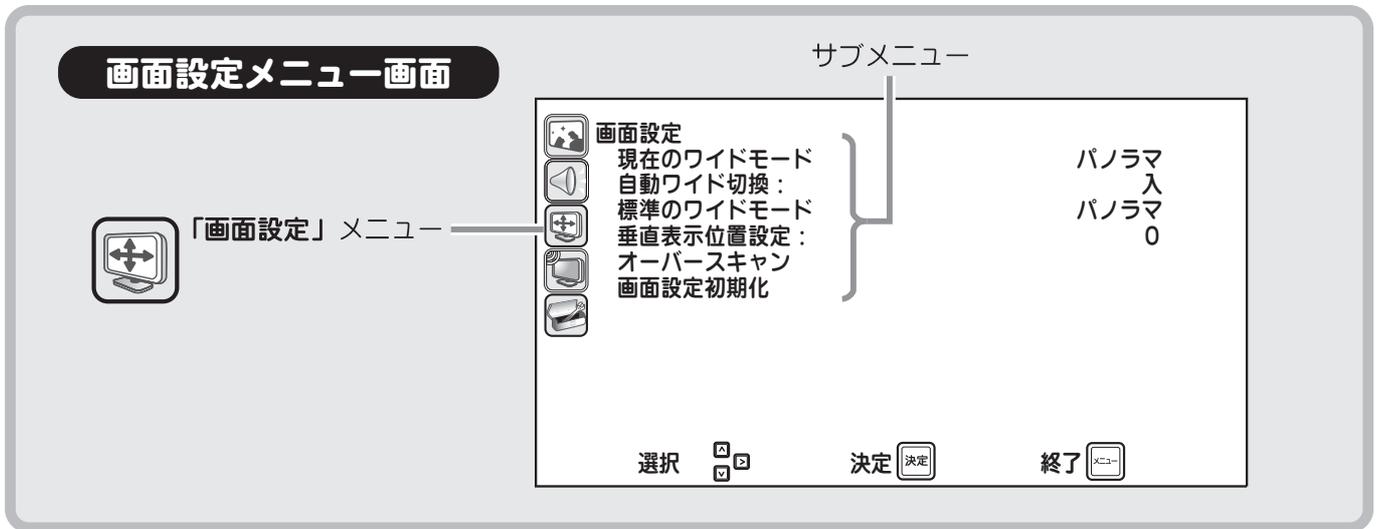
# 音声設定（つづき）

## ビデオ 5/ ビデオ 6（HDMI）音声入力

パソコンなどの DVI 端子を本機のビデオ 5 または 6 の外部入力（HDMI）端子に接続した場合、音声が出力されません。その場合は本機のビデオ 1 ～ 4 入力いずれかの音声入力端子に接続する必要があります。

[∧] / [∨] **ボタン**で接続した音声入力端子を選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

## 音声設定初期化

[リセット] **ボタン**を押すか、または [∧] / [∨] **ボタン**で「音声設定初期化」を選択し [決定] **ボタン**を押すと、サブメニューのステレオ / モノラル・二カ国語放送以外の項目が工場出荷時の設定に戻ります。

# 画面設定

メニュー画面で画面設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

サブメニューから [∧] / [∨] **ボタン**で設定したい項目を選択し、[決定] **ボタン**を押します。
それぞれ、[∧] / [∨] **ボタン**で設定内容を変更できます。

## 現在のワイドモード

現在ご覧になっているチャンネル、またはビデオ入力映像のワイドモードを切り換えます。
※この設定はワイドボタンを押しても変更することができます。（☞27 ページ）
※フル、ノーマル、パノラマ、ズームのイメージについては 27 ページをご覧ください。

## 自動ワイド切換

自動ワイド切換を「入」にすると、映像信号に ID-1 方式の縦横比情報が検出された場合、自動ワイド切換機能が働きます。

| ID-1 縦横比 | 動　作 |
|---|---|
| 4 : 3 | 標準モード設定に従います。 |
| Letter Box | ズーム画面表示となります。 |
| 16 : 9 | フル画面表示となります。 |

## 標準のワイドモード

通常のテレビ放送受信時、および縦横比情報の入っていないビデオ入力映像のワイドモードを設定します。
※フル、ノーマル、パノラマ、ズームのイメージについては 27 ページをご覧ください。
※地上アナログ放送では縦横比 4 : 3 の映像が送られてきます。本機は縦横比が 16 : 9 のワイドテレビのため、4 : 3 の映像を 16 : 9 に変換する方法をお好みに応じてお選びいただけます。
・4 : 3 を 16 : 9 に拡大してワイド画面でご覧になりたい場合 ............... パノラマ
・4 : 3 の縦横比を変えずにオリジナルの映像をご覧になりたい場合 ...... ノーマル

## 垂直表示位置設定

ズームおよびパノラマ画面のときに、画面位置を上下に調整できます。

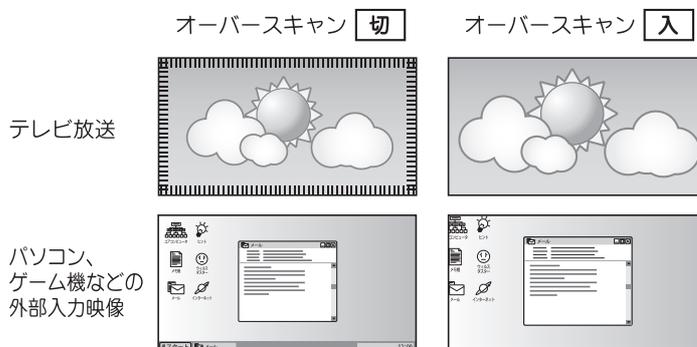
# 画面設定（つづき）

## オーバースキャン設定

放送局からは実際のテレビ画面よりも少し大きめの映像信号が送出されており、画面の縁の部分には不要な信号（データなど）があります。
オーバースキャン設定を「入」にすると、それらの不要な部分をカットして画面に映らないようにします。
パソコンやゲーム機など画面の縁いっぱいまで映像があるものは、オーバースキャン設定を「切」にしてください。

オーバースキャン 切　　オーバースキャン 入

テレビ放送

パソコン、
ゲーム機などの
外部入力映像

・通常のテレビ放送を見る場合 ..........................「入」を選びます。
・パソコンやゲーム機等の機器を接続する場合 ....「切」を選びます。

∧ / ∨ **ボタン**で選択し、決定 **ボタン**で設定します。

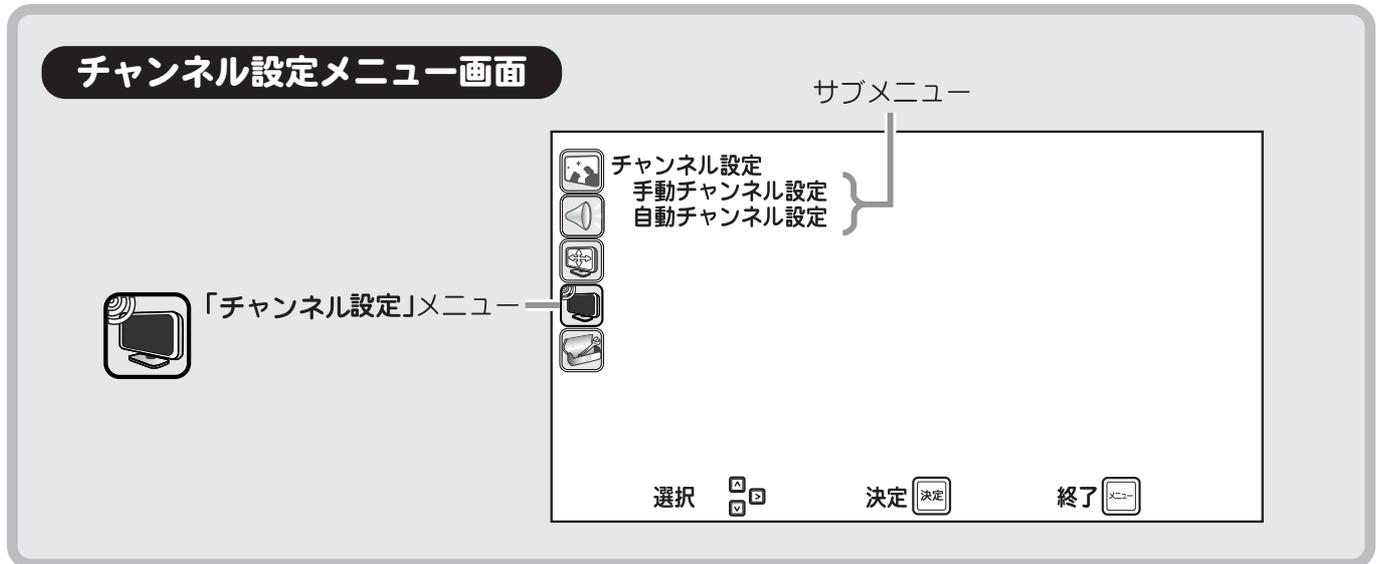
※設定をすべて初期状態に戻すには、リセット **ボタン**を押すか、または ∧ / ∨ **ボタン**で「オーバースキャン設定初期化」を選択し 決定 **ボタン**を押してください。

## 画面設定初期化

リセット **ボタン**を押すか、または ∧ / ∨ **ボタン**で「画面設定初期化」を選択し 決定 **ボタン**を押すと、「現在のワイドモード」以外の項目が工場出荷時の設定に戻ります。

各種設定のしかた

# チャンネル設定

メニュー画面でチャンネル設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

## 手動チャンネル設定

サブメニューで「手動チャンネル設定」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、選局ポジション（**1～24**）に登録されているチャンネルを設定できます。
受信チャンネルを自動設定したあとで見たいチャンネルを追加したり、CATV チャンネルを登録するなど、数字ボタンの登録内容を任意にカスタマイズできます。

| ボタン | 受信CH | 表示CH | 受信／スキップ |
|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | 受信 |
| 2 | 2 | 62 | 受信 |
| 3 | 14 | 14 | 受信 |
| 4 | 4 | 4 | 受信 |
| 5 | 5 | 5 | スキップ |
| 6 | C16 | C16 | 受信 |
| 7 | 7 | 7 | 受信 |
| 8 | 8 | 8 | スキップ |
| 9 | 9 | 9 | 受信 |
| 10 | 10 | 10 | 受信 |
| 11 | 11 | 11 | 受信 |
| 12 | 12 | 12 | 受信 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| －－ | 24 | 24 | スキップ |

# チャンネル設定（つづき）

## 手動チャンネル設定（つづき）

**1** [∧]/[∨]**ボタン**で編集したいボタン番号を選び、[<]/[>]**ボタン**で「受信 CH」、「表示 CH」、または「受信／スキップ」を選択し、数字ボタン（11、12 を除く）または [∧]/[∨]**ボタン**を使って設定値を変更します。

受信 CH・表示 CH：数字ボタン（11、12 を除く）または [∧] / [∨] **ボタン**で変更できます。
[∧] **ボタン**を押すと 1ch…→ 62ch…→ C13ch…→ C63ch…→ 1ch と変わり、
[∨] **ボタン**を押すと逆方向に変わります。

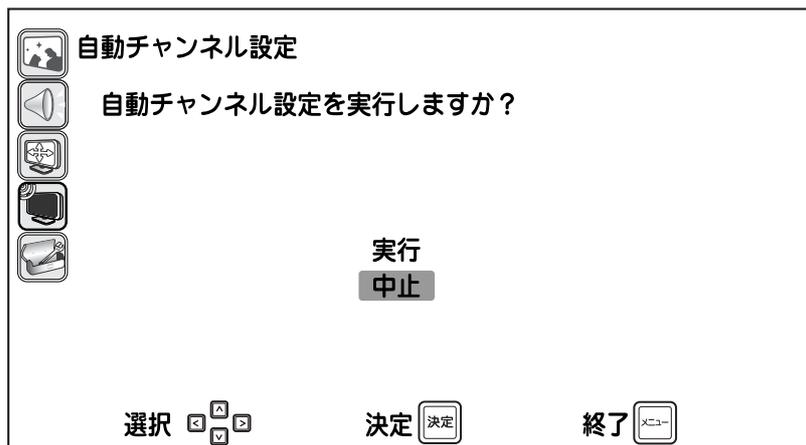
受信／スキップ　：[∧] / [∨] **ボタン**を押すと「受信」と「スキップ」交互に切り換わります。

**2** [メニュー] **ボタン**を押すとメニューを終了します。

※外部入力選択時は「チャンネル設定」メニューを選択できません。

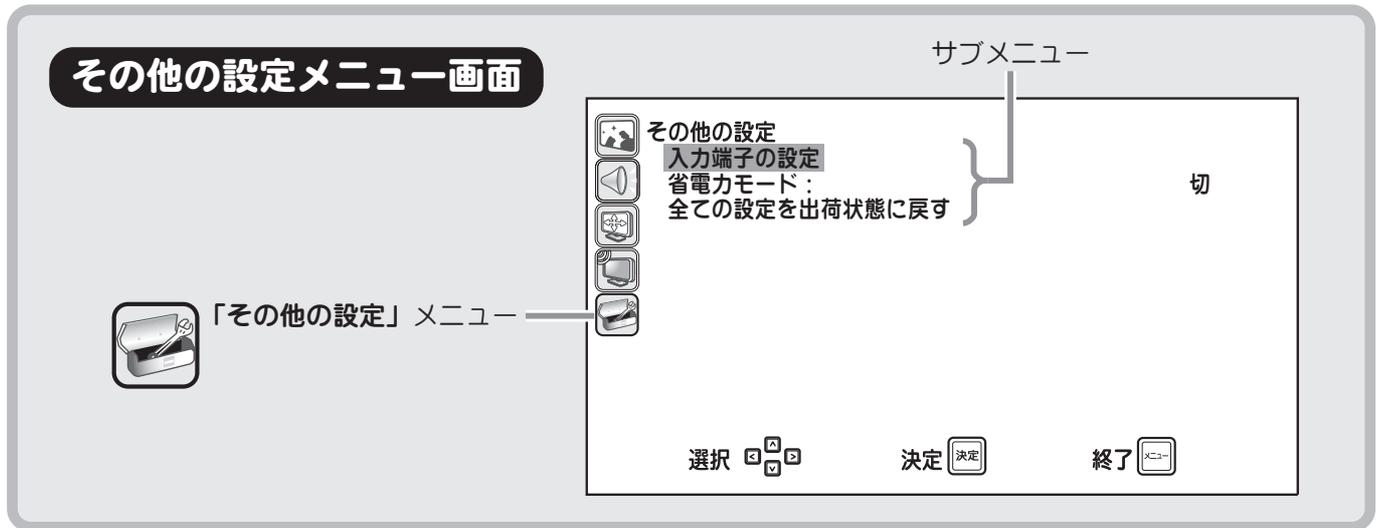
※編集したいボタン番号の選択は、カーソルがボタン番号にあるときのみ可能です。

## 自動チャンネル設定

サブメニューで自動チャンネル設定を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、以下のメッセージが表示され、自動チャンネル設定の実行・中止を選択できます。画面は最初、中止が選択されています。
[∧] / [∨] **ボタン**で「実行」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと受信チャンネルの自動スキャンを開始します。

※自動チャンネル設定については、「初期設定をする」（☞18 ページ）をご覧ください。

※外部入力選択時は「チャンネル設定」メニューを選択できません。

# その他の設定

メニュー画面でその他の設定アイコンを [∧] / [∨] **ボタン**で選び、[決定] **ボタン**を押します。
画面右側にはサブメニューが表示されます。

## 入力端子の設定

サブメニューで「入力端子の設定」を選択し、[決定] **ボタン**を押すと、外部映像・音声入力端子の名称を変更できます。
また、チャンネル選局時に内蔵の地上アナログチューナーをスキップ状態にすることもできます。

[入力切換] **ボタン**を押した際、ビデオ 1、2、3、4、5、6 の代わりに接続している機器名を表示させることができます。

[∧]/[∨]**ボタン**で名称変更する入力端子を選択して [決定] **ボタン**を押し、[∧]/[∨]**ボタン**で名称を変えます。
名称は次の表から選択できます。

| 画面表示 | 割り当て例 |
|---|---|
| --- | 未設定（標準名称「ビデオ 1」「ビデオ 2」「ビデオ 3」「ビデオ 4」「ビデオ 5」「ビデオ 6」使用） |
| DVD | DVD プレーヤー・レコーダー |
| DVD1 | |
| DVD2 | |
| VTR | ビデオテープレコーダー |
| VTR1 | |
| VTR2 | |
| HDD レコーダー | ハードディスクレコーダー |
| HDD レコーダー 1 | |
| HDD レコーダー 2 | |
| BS/CS | BS/CS デジタルチューナー |
| CATV | ケーブルテレビ（セットトップボックス、ホームターミナル） |
| ゲーム | ゲーム機 |
| ゲーム 1 | |
| ゲーム 2 | |
| 地上デジタル | 地上デジタルチューナー |
| PC | パソコン |
| スキップ | 外部入力を無効にします。（入力切換時にスキップします。） |

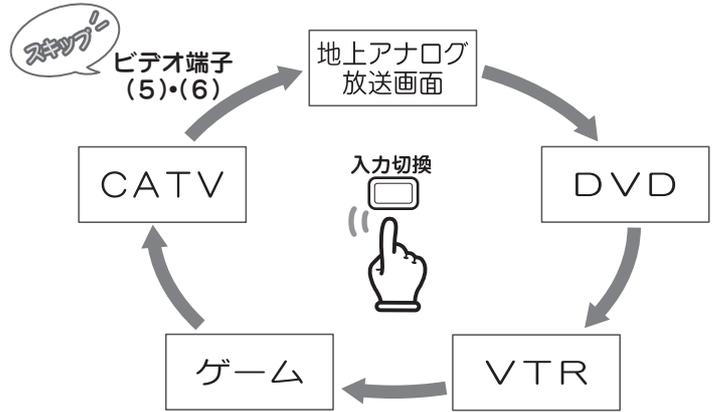
# その他の設定（つづき）

## 入力端子の設定（つづき）

※[メニュー] **ボタン**を押すとメニューを終了します。

※チューナーは未設定（－－－）とスキップのみ選択できます。外部機器しか使用せず、内蔵の地上アナログチューナーが不要な場合は、チューナーをスキップにしてご利用ください。

下記のように設定した場合、[入力切換] **ボタン**を押すごとに右図のように切り換わります。

例）チューナー（地上アナログ放送）：－－－
ビデオ端子 1：DVD
ビデオ端子 2：VTR
ビデオ端子 3：ゲーム
ビデオ端子 4：CATV
ビデオ端子 5：**スキップ**
ビデオ端子 6：**スキップ**

※設定をすべて初期状態（－－－）に戻すには、[∧] / [∨] **ボタン**で「入力端子設定の初期化」を選択し、[決定] **ボタン**を押してください。

## 省電力モード

省電力モードの入・切を設定します。省電力モードに設定すると、表示中の画面の明るさを抑えて本機の消費電力を低減します。

※省電力モードにすると、画面が多少暗くなります。

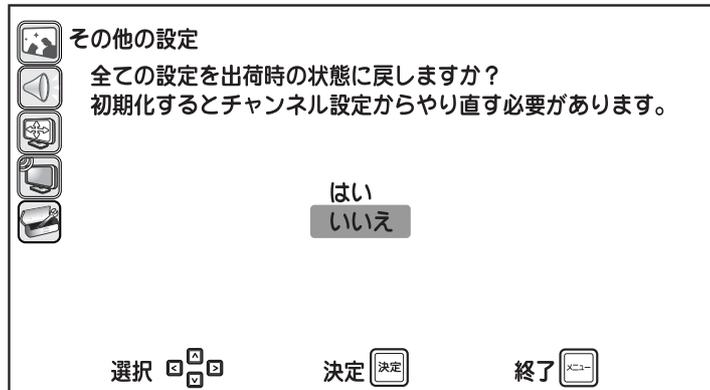
・切：　設定しない
・入：　設定する

[∧] / [∨] **ボタン**で選択し、[決定] **ボタン**で設定します。

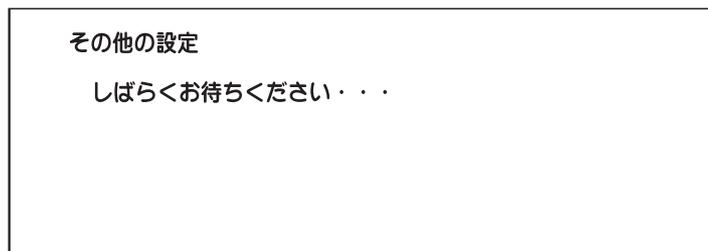
[リセット] **ボタン**を押すと初期値の「切」に戻ります。

# その他の設定（つづき）

## 全ての設定を出荷状態に戻す（工場出荷時設定に戻す）

本機のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

∧ / ∨ **ボタン**で「はい」を選択し、決定 **ボタン**を押すと初期化を開始します。

その他の設定

しばらくお待ちください・・・

初期化が完了すると、初期設定前の状態（☞18 ページ）になります。

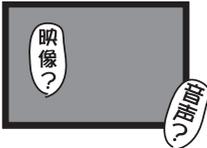
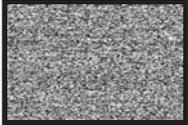
- 初期化には数秒かかります。
- 初期化中はすべてのボタン操作ができません。
- 初期化中は、絶対に電源プラグを抜かないでください。

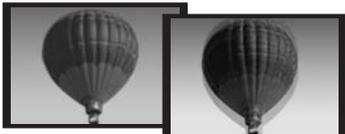
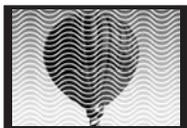
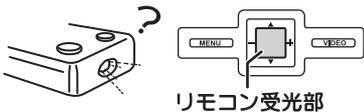
# 第5章

# ご参考

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターへお電話いただくか、または＜ユニデンダイレクト＞ホームページよりお問い合わせください。
（☞裏表紙をご覧ください）

| こんなときには… | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| **映像も音声も出ない** | ●電源コードが正しく接続されていますか？<br>●リモコンまたは本体の電源ボタンを押しましたか？<br>●アンテナおよび各機器の接続は正しいですか？<br>●各種設定は正しいですか？ | 17<br>24<br>16～21<br>35, 36 |
| **映像が出ない<br>外部入力映像が出ない** | ●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？<br>●ケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。 | 35<br>20 |
| **音声が出ない** | ●音量調整が最小になっていませんか？<br>●消音になっていませんか？<br>●ヘッドフォンを差し込んだままになっていませんか？ | 24<br>24<br>30 |
| **映像も音声も出ない<br>ノイズしか出ない** | ●アンテナケーブルが抜けていませんか？<br>●放送のないチャンネルの電波を受信していませんか？ | 16<br>24 |
| **映りが悪い** | ●アンテナケーブルが抜けていませんか？<br>●電波状態が悪いことが考えられます。 | 16<br>– |
| **色合いが悪い<br>色が薄い** | ●色合い、色の濃さは正しく調整されていますか？ | 35 |

# 故障かな？と思ったら（つづき）

| こんなときには… | ここをご確認ください | ページ |
|---|---|---|
| **画面が暗い** | ●明るさ調整が低い段階に設定されていませんか？<br>●明るさとコントラストは正しく調整されていますか？<br>●蛍光管の寿命が考えられます。 | 35<br>35<br>50 |
| **映像が不鮮明**<br>**映像がゆれる** | ●電波状態が悪い場合が考えられます。<br>●アンテナの方向がずれていませんか？<br>●屋外アンテナのアンテナ線がはずれていませんか？ | —<br>—<br>16 |
| **画像が２重３重になる** | ●アンテナの方向がずれていませんか？<br>●山やビルからの反射電波の影響も考えられます。 | —<br>— |
| **画面にはん点が出る** | ●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。 | 10 |
| **色じま模様が出たり、**<br>**色が消える** | ●他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。<br>●妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。 | 10<br>— |
| **映像が横長や縦長になる** | ●自動ワイド切換が「切」になっていませんか？入力信号に合わせてワイドモードを切り換えてください。 | 27、38 |
| **リモコンが動作しない**<br>MENU VIDEO<br>リモコン受光部 | ●電池は正しい向きで入っていますか？<br>●リモコンの電池寿命が考えられます。<br>●蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ | 15<br>15<br>15 |

●本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このようなときは一度電源プラグをコンセントから抜き、数分後、再度コンセントに差し込み、電源を入れてご使用ください。

# お手入れについて

## 液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず電源を切って画面をオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネル表面は、やわらかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。
  硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、やわらかい布を軽く水で薄めた中性洗剤に湿らせ、そっと拭いてください。
  （強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつくおそれがありますのでご注意ください。）
- パネルの表面にほこりがついた場合は、市販の防塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。
- パネルの保護のため、ほこりのついた布や洗剤、化学ぞうきんなどは使わないでください。
  パネルの表面がはく離することがあります。

## 蛍光管について

本機に使用している蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、<ユニデンダイレクト>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデンダイレクト>ホームページよりお問い合わせください。

# おもな仕様

| 品　名 | | | 液晶カラーテレビ | |
|---|---|---|---|---|
| 形　名 | | | TL37AZ1(B)<br>TL37AZ1(W) | TL42AZ1(B)<br>TL42AZ1(W) |
| 液晶パネル | 画面サイズ | | 37V型<br>縦約46.3cm×横約82.2cm | 42V型<br>縦約52.4cm×横約93.1cm |
| | 表示方法 | | 透過型MVA液晶 | |
| | 駆動方式 | | TFTアクティブマトリックス方式 | |
| | 解像度 | | 横1920×縦1080 | |
| 使用光源 | | | 内部光（蛍光管内蔵） | |
| 受信チャンネル | | | テレビ：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） | |
| スピーカー | | | 6 cm × 12 cm 長円（2個） | |
| 音声実用最大出力 | | | 総合 10 W（5 W + 5 W） | |
| 接続端子 | | | 電源端子、ヘッドフォン出力端子、VHF / UHFアンテナ入力端子、<br>ビデオ入力2系統、Sビデオ入力1系統（ビデオ入力1共用）、<br>HDMI入力2系統、コンポーネントビデオ入力2系統、音声出力1系統 | |
| 使用電源 | | | AC 100V・50/60Hz | |
| 使用温度 | | | 0℃～+40℃ | |
| 消費電力 | 地上波放送受信時 | | 195W | 215W |
| | 待機時 | | 0.3W | 0.3W |
| 外形寸法 | テーブルスタンド含む（一部突起を除く） | 幅 | 97.5 cm | 110.8 cm |
| | | 奥行 | 35.2 cm | 35.2 cm |
| | | 高さ | 73.5 cm | 82.6 cm |
| 本体質量 | | | 約31 kg | 約37 kg |

● 本機のメニュー画面や画面で表示されるフォントとして、株式会社リコーが製作したリコービットマップフォントを使用しています。

# さくいん

## 英数



## ア行



## カ行



## サ行



## タ行



## ナ行



## ハ行



## マ行



## ラ行



## ワ行

商品の詳しい説明は、<ユニデンダイレクト>ホームページにてご覧いただけます。

# http://www.uniden-direct.jp/

## ⚠ 安全に関するご注意

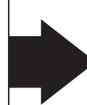
ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

● 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。
火災、感電、故障の原因となることがあります。
● けがの原因となることがありますので、テレビは転倒防止の処置をしてください。
● テレビよりも小さな台には置かないでください。また、台の耐荷重量についても必ずご確認ください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden-direct.jp/support/DL.html**

## 愛情点検　ご使用のテレビの点検を！

〈熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。〉

このような症状はありませんか
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、音や映像が消えない。
●内部に水や異物が入った。

**ご使用中止**
故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ず<ユニデンダイレクト>お客様センターにご相談ください。

### 保証書に関するお願い

● 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、配送時の伝票と共に大切に保管してください。
● 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

### 注意事項

● 本機には地上デジタルチューナー、BS／110度CSデジタルチューナー、BSアナログチューナーを搭載しておりません。
● 液晶テレビでは「ジー」という表示パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
● 液晶テレビは、微細な画素の集合で表示しています。ごく一部に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがあることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
● ワイド画面テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店・ホテル等において、画面モード切替機能（パノラマモード）等を利用して表示や圧縮・引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
● ライフルタイプやガン（銃）タイプのコントローラーを使用するシューティングゲームなどは、構造上本機では使用できないことがあります。また、ゲームによっては動きの速いシーンにおいて画面の遅延が気になる場合があります。詳しくはゲームおよびコントローラーの取扱説明書をご覧ください。
● ゲームの種類・内容によっては、画面が欠ける場合があります。
● 市販の学習リモコンに弊社のリモコン信号を学習させることにより、市販の学習リモコンから弊社の液晶テレビをご利用いただけます。
● 赤外線コードレスマイクやコードレスヘッドホンなどの赤外線通信機器と同時にご使用になられる場合は、これらの機器にノイズ等の障害を与えることがあります。
● テレビの配置状況によっては近隣のAMラジオ等にノイズ等の影響を与える場合があります。
● HDMIは新しいインターフェイスです。そのため、接続する機器によってはつながりにくかったり、電源の入切が必要になる場合があります。
HDMIおよびHDMIロゴはHDMI LISENSING LLCの商標または登録商標です。
● 製品の色は印刷物ですので実際の色とは若干異なる場合があります。
● 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
● お客様から弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
● ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
● 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

### デジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

2000　2003　2006　2011
地上デジタルテレビ放送
地上アナログテレビ放送　2011/7までに終了
ＢＳデジタルテレビ放送
ＢＳアナログテレビ放送　2011までに終了

**2011年 アナログテレビ放送終了**
地上デジタル放送をご覧いただくには専用チューナーが必要となります。 総務省

● ユニデンの地上デジタルチューナーを別途お買い上げいただくことにより、2011年以降の地上アナログ放送終了後も本機をそのままお使いいただけます。

このマークの示してあるテレビ受信機単体では、地上デジタル放送をご覧にはなれません。地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、ご使用のテレビ受信機に地上デジタル放送用テレビチューナーを接続する方法（注1）（注2）とケーブルテレビで視聴する方法（注3）があります。

（注1）地上デジタルテレビ放送に対応したアンテナ等が必要です。
（注2）受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビ受信機の種類により異なります。
（注3）サービス形態や受信方法についてはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

**<ユニデンダイレクト>お客様センター**　当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文　**0120-012-123**
●サポートダイヤル　**0120-20-20-70**

TL37AZ1/TL42AZ1　取扱説明書

発行日：2007年6月　第1版
ユニデン株式会社
〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
http://www.uniden.co.jp/